

1. 歴史・なりたち

古くからある鹿畑町は、農業を中心とした田園集落として発達してきました。昭和50年代初頭には、圏域東側の丘陵部において、市内で最も大規模となる、戸建てを中心とした鹿ノ台住宅地の造成に伴い、小中学校や公園などの公共施設及び生活利便施設が整備されました。平成18年には、けいはんな線の開通に伴い学研奈良登美ヶ丘駅が開設され、同時期に、美鹿の台住宅地が造成されたことにより、圏域内の人口が平成25年にピークとなりました。

2. 特徴

市の最東部に位置し、東は京都府の京田辺市・精華町、南は奈良市に隣接しています。生駒駅までは、けいはんな線で所要時間10分、本町駅までは37分といった利便性です。市街地が形成されている傾斜地の裾（圏域南側）には、大阪と三重を東西に結ぶ国道163号線がとおり、また木津川の支流山田川が流れています。鹿畑町には現在も田園集落が広がり、住宅地においては豊かな自然環境に恵まれた良好な住環境が形成されています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

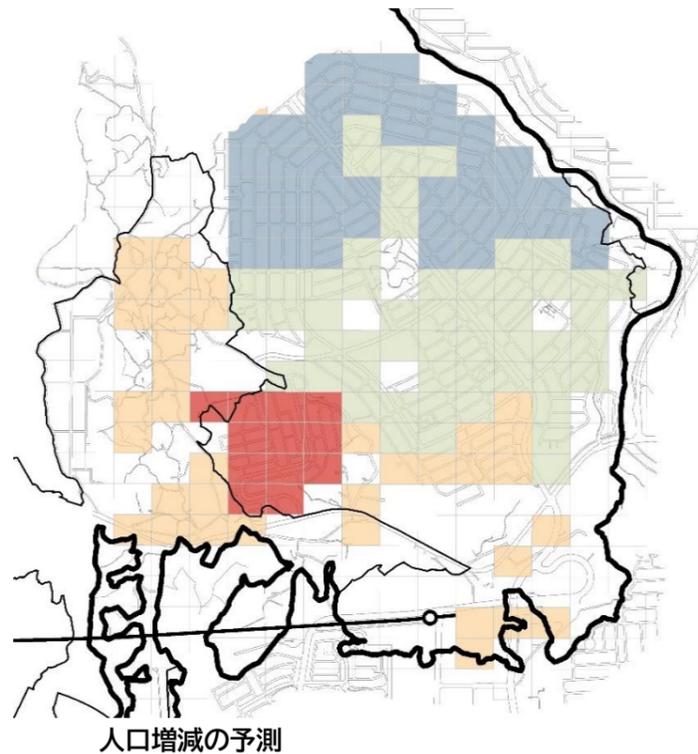
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン(人)												住民基本台帳(R2.4.1) 世帯数
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
鹿ノ台	S52	7,103	5,459	-23.1%	703	672	-4.4%	4,861	3,406	-29.9%	1,539	1,381	-10.3%	3,041
美鹿の台	H18	1,324	1,445	9.1%	458	234	-49.0%	857	1,175	37.3%	9	36	299.4%	348
鹿畑町	—	695	615	-11.5%	114	89	-21.9%	474	417	-12.0%	107	109	1.7%	298
合計	—	9,122	7,519	-17.6%	1,276	995	-22.0%	6,190	4,998	-19.3%	1,656	1,526	-7.8%	3,687

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	鹿ノ台	58.7	45.1
美鹿の台	101.8	111.1	9.1%
鹿畑町	4.6	4.0	-11.5%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



- 市街化区域界
- 国道・県道・主要市道
- 駅
- 鉄道

(3) 交通

拠点駅 学研奈良登美ヶ丘駅(近鉄けいはんな線)

- 乗降者数 14,165人/日(H30.11調査)
- バス路線数 6路線

方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
祝園駅方面	8.7	4.6	8.0
高の原駅方面	4.3	2.8	3.7
高山サエスタカ方面(鹿畑経由)	1.3	0.6	1.0
学園前駅方面	9.7	6.3	6.7
同志社国際学院方面	0.7	0	0
鹿ノ台方面	5.0	4.1	5.3

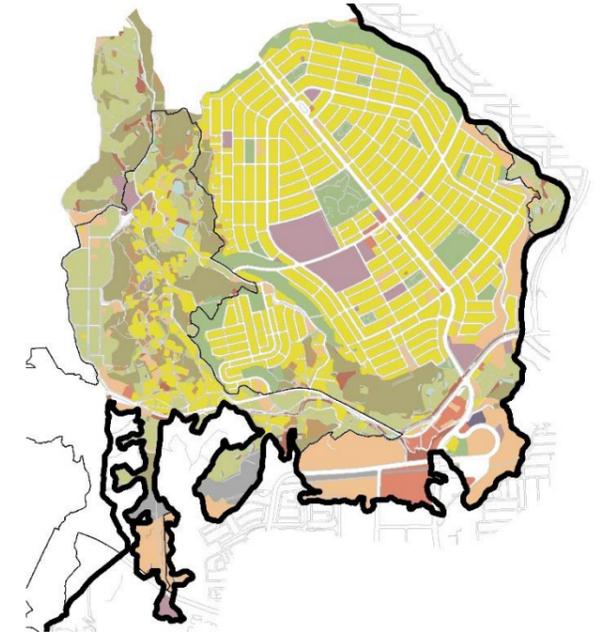
2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

(4) 土地利用

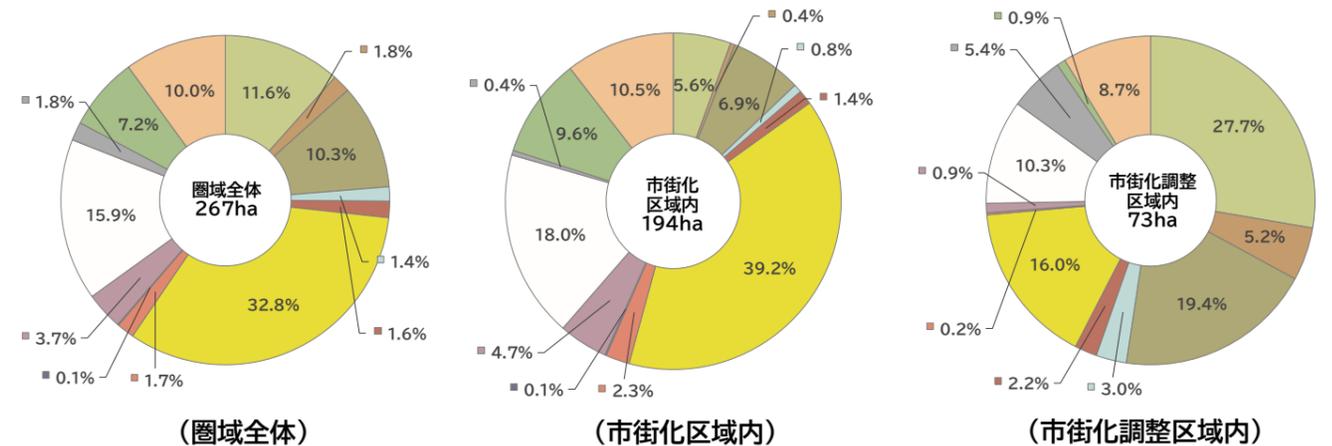
土地利用の状況

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地

※都市計画基礎調査(H26)より



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 国道・県道等の幹線道路の整備状況
- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 電車の利便性
- ・ バスの利便性
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 日常の買い物の利便性
- ・ 生涯学習施設（図書館・コミュニティセンター等）への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 子育て支援施設への行きやすさ
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む学研北生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



素戔鳴神社



鹿畑町田園風景



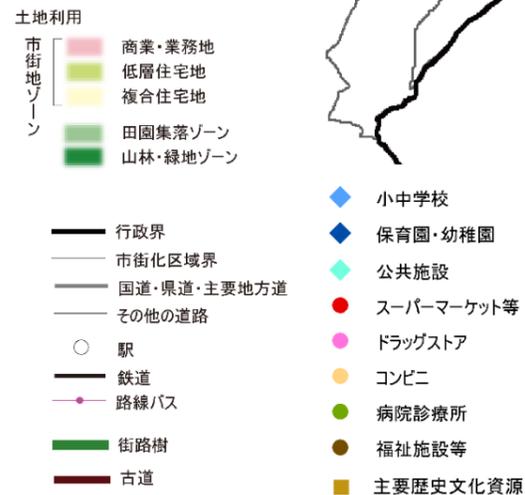
鹿ノ台中央公園



鹿ノ台中央大通り



学研奈良登美ヶ丘駅



市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 商店街など身近なお店の活気
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む学研北生駒駅周辺地域の声を集めたものです。

学研北生駒駅圏域 データ集

1. 歴史・なりたち

古くからある高山町と上町は、寺社仏閣などの歴史資源が豊富にあり、神話も多く残る地域である。茶釜の伝統産業に加え、農業も盛んな田園集落として発達してきました。

昭和50年頃からは、戸建を中心とした真弓、真弓南、北大和住宅地の造成に伴い、小中学校や公園などの公共施設及び生活利便施設が整備され、平成18年には、けいはんな線の開通に伴い学研北生駒駅が開設されました。現在は、高山町の東部、関西文化学術研究都市の高山地区において、都市と自然環境が共生できるまちづくりが進められています。

2. 特徴

市の最北部に位置し、北西は大阪府枚方市、交野市、東は京都府の京田辺市・精華町、南は奈良市に隣接しています。生駒駅までは、けいはんな線学研北生駒駅から所要時間6分、本町駅までは34分といった利便性です。圏域北部には生駒八景のひとつ、くろんど池が金剛生駒紀泉国定公園の中にありその東側に隣接して、富雄川の源流である高山ため池池があります。富雄川と平行する県道枚方大和郡山線が圏域を縦貫し、流域周辺には高山町や上町の田園集落が広がりながらも、沿道サービス施設の立地が進んでいます。住宅地においては、豊かな自然環境に恵まれた良好な住環境が形成されています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

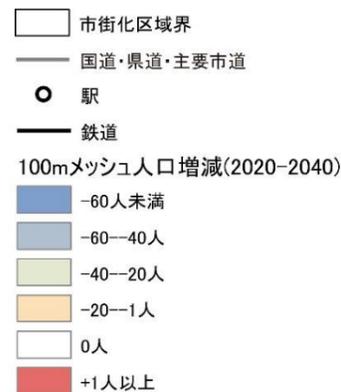
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン(人)												住民基本台帳(R2.4.1) 世帯数
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
高山町	—	3,742	3,159	-15.6%	350	390	11.4%	2,725	2,067	-24.1%	667	702	5.2%	1,729
上町	—	1,259	1,149	-8.7%	189	165	-12.7%	904	776	-14.2%	166	208	25.3%	515
北大和	H1	3,702	3,408	-7.9%	434	464	6.9%	2,955	2,104	-28.8%	313	840	168.4%	1,348
真弓	S49	2,756	2,035	-26.2%	286	250	-12.6%	1,809	1,232	-31.9%	661	553	-16.3%	1,197
真弓南	S59	1,365	1,091	-20.1%	115	130	13.0%	1,063	638	-40.0%	187	323	72.7%	536
合計	—	12,824	10,842	15.5%	1,374	1,399	1.8%	9,456	6,817	-27.3%	1,994	2,626	31.7%	5,325

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

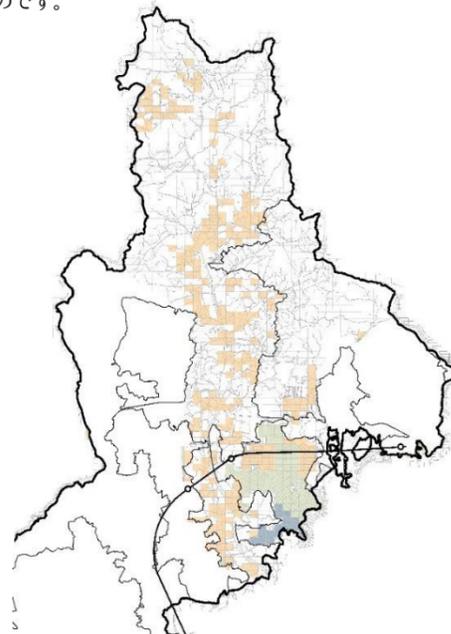
(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	高山町	3.1	2.6
上町	7.5	6.8	-9.3%
北大和	60.7	55.9	-7.9%
真弓	55.1	40.7	-26.1%
真弓南	65.8	52.0	-21.0%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測



(3) 交通

拠点駅 学研北生駒駅(近鉄けいはんな線)

- 乗降者数 6,419人/日(H30.11調査)
- バス路線数 6路線

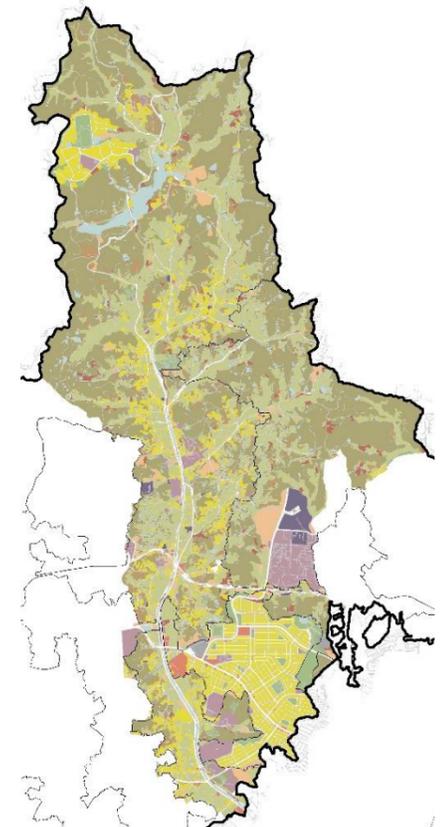
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
学園前駅方面(真弓経由)	7.7	4.0	4.3
学園前駅方面(北大和経由)	3.3	2.1	2.3
高山サイエンスタウン方面	3.3	1.1	2.3
富雄駅方面(上町経由)	3.3	1.0	2.0
高山方面	1.3	1.0	1.0
生駒駅方面	1.0	0.5	0

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

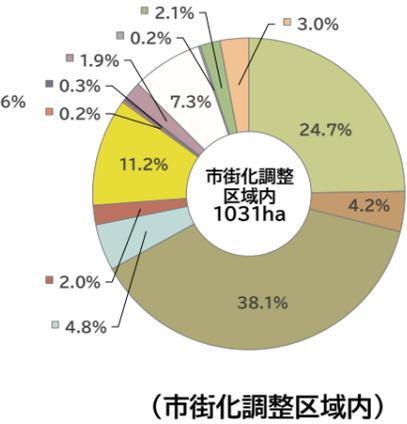
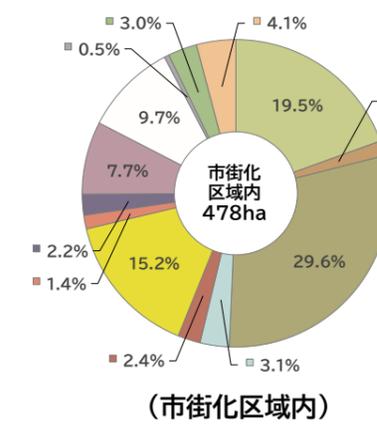
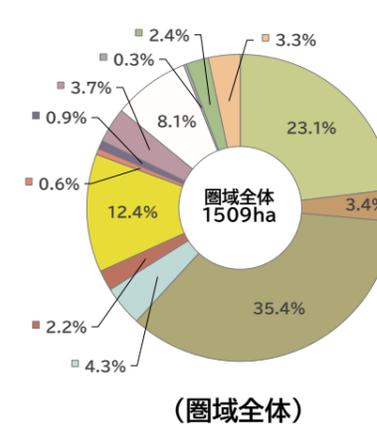
(4) 土地利用

土地利用の状況

※都市計画基礎調査(H26)より



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

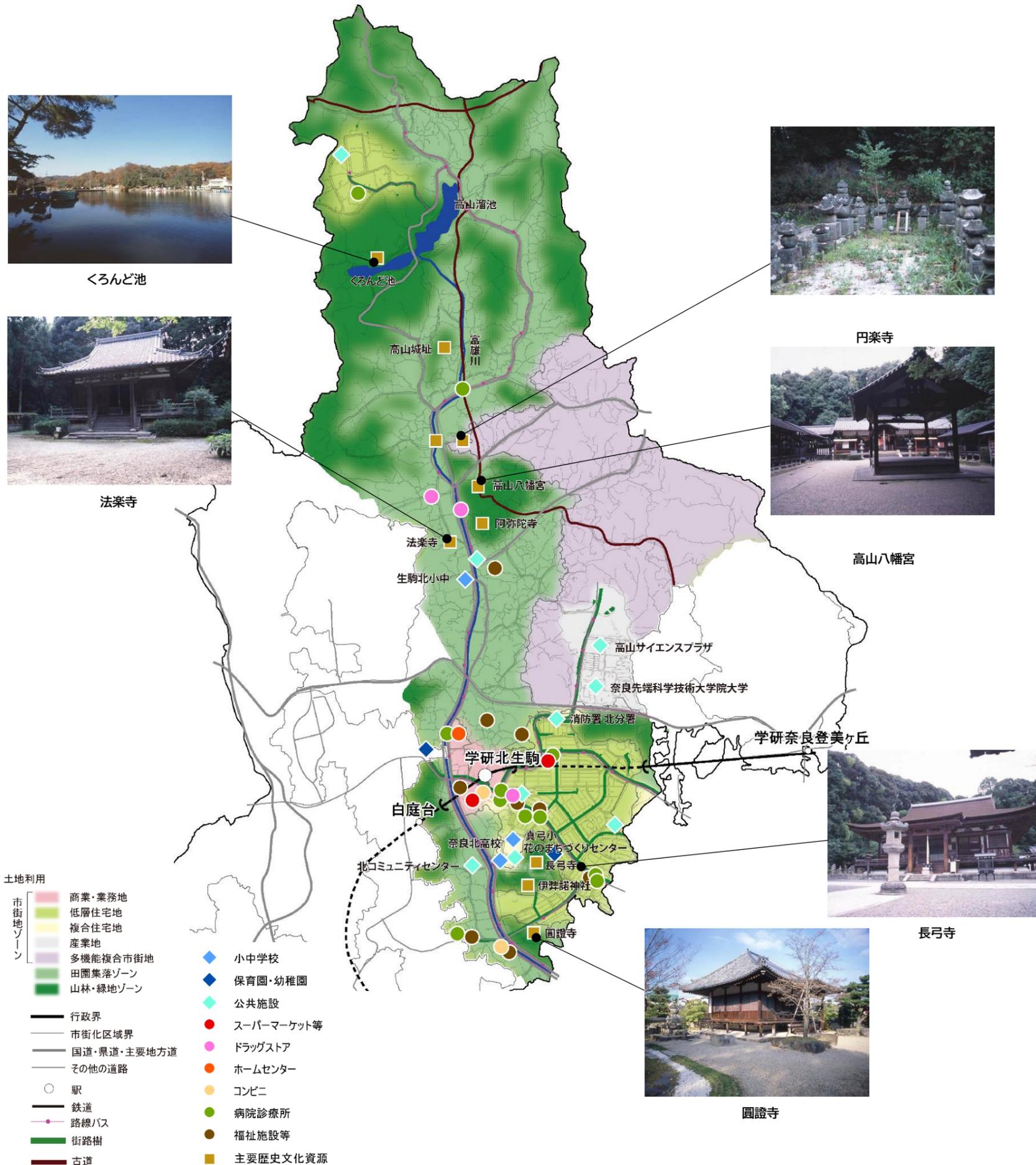
〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 国道・県道等の幹線道路の整備状況
- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 電車の利便性
- ・ バスの利便性
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 生涯学習施設（図書館・コミュニティセンター等）への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 子育て支援施設への行きやすさ
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む学研北生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



くろんど池



法楽寺



円楽寺



高山八幡宮



長弓寺



圓證寺

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 商店街など身近なお店の活気
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む学研北生駒駅周辺地域の声を集めたものです。

1. 歴史・なりたち

古くからある北田原町は、農業を中心とした田園集落として発達してきました。また、北田原町の東側には、関西電力新生駒変電所の進出を契機とし、現在も多くの企業が立地する学研テクノエリア（旧北田原工業団地）があります。

昭和50年代初頭には、戸建を中心としたあすか台、あすか野住宅地の造成に伴い、小学校や公園などの公共施設及び生活利便施設が整備されました。その後も、昭和60年以降にひかりが丘、白庭台住宅地が造成され、平成18年には、けいはんな線の開通に伴い白庭台駅が開設され、同時期に、西白庭台や、上町台などの住宅地が造成され白庭台駅前の高層共同住宅の立地も進んだことから、近年圏域内の人口が急増しています。

2. 特徴

市の北西部に位置し、西は大阪府の四条畷市、北は交野市、南は奈良市に隣接しています。生駒駅までは、白庭台駅からけいはんな線で所要時間4分、本町駅までは32分であり、東西には国道163号線、南北には国道168号線がとおる利便性です。

北田原町には田園集落が広がり、南西部には矢田丘陵が縦断するなど自然環境に恵まれ圏域であり、多くの住宅地においても豊かな自然環境に恵まれた良好な住環境が形成されています。また圏域の北部にある学研テクノエリアには、多くの企業が立地しています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン (人)												住民基本台帳 (R2.4.1)	
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上				世帯数
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率		
北田原町	—	519	398	-23.3%	46	46	0.9%	358	248	-30.7%	115	104	-9.0%	242	
ひかりが丘	S58	1,710	1,477	-13.7%	194	182	-5.7%	1,361	876	-34.2%	155	399	157.8%	646	
西白庭台	H15	2,733	2,893	5.8%	807	447	-44.7%	1,873	2,285	22.0%	53	161	204.0%	818	
白庭台	S63	5,650	5,498	-2.7%	1,221	790	-35.3%	4,064	3,914	-3.7%	365	794	117.8%	2,034	
上町台	—	863	928	7.6%	342	150	-56.0%	513	762	48.5%	8	16	89.6%	236	
あすか野	S50	4,505	3,393	-24.7%	543	437	-19.5%	2,847	2,189	-23.1%	1,115	767	-31.2%	1,963	
あすか台	S50	268	222	-17.1%	37	30	-18.9%	173	144	-16.8%	58	48	-17.6%	115	
合計	—	23,543	17,826	-9.3%	12,469	10,180	-4.2%	5,851	4,084	-30.2%	5,223	3,562	-44.4%	6,054	

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

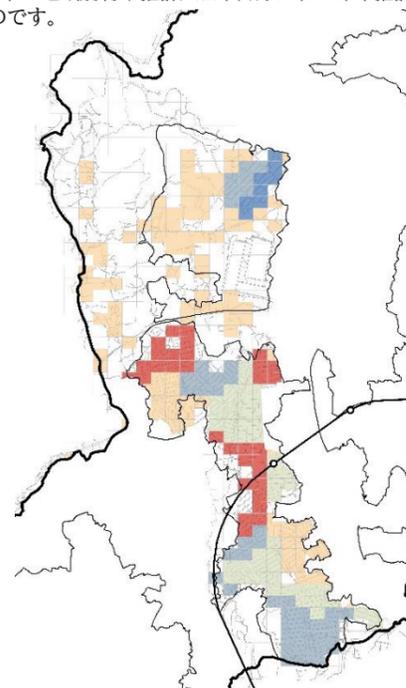
(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
北田原町	1.7	1.3	-23.3%
ひかりが丘	95.0	82.0	-13.7%
西白庭台	85.4	90.4	5.8%
白庭台	88.4	85.9	-2.7%
上町台	123.3	132.6	7.6%
あすか野	49.5	37.3	-24.7%
あすか台	38.2	31.7	-17.1%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測



(3) 交通

拠点駅 白庭台駅 (近鉄けいはんな線)

- 乗降者数 9,339人/日 (H30.11調査)
- バス路線数 2路線

方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
生駒駅方面 (東生駒駅・あすか野団地経由)	2.3	1.1	2.7
ひかりが丘方面	2.3	2.0	3.0

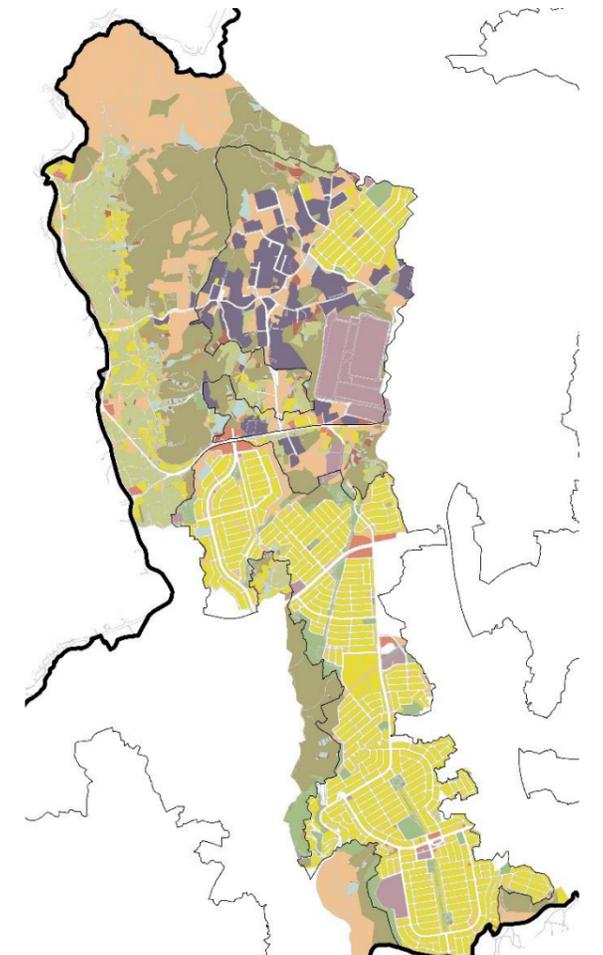
2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

(4) 土地利用

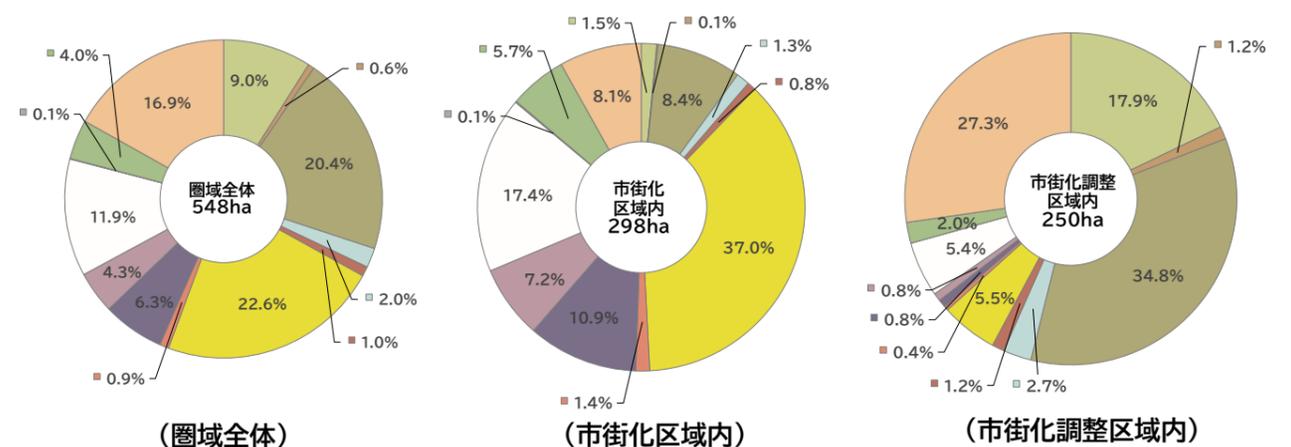
土地利用の状況

※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 国道・県道等の幹線道路の整備状況
- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 電車の利便性
- ・ バスの利便性
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 生涯学習施設（図書館・コミュニティセンター等）への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 子育て支援施設への行きやすさ
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

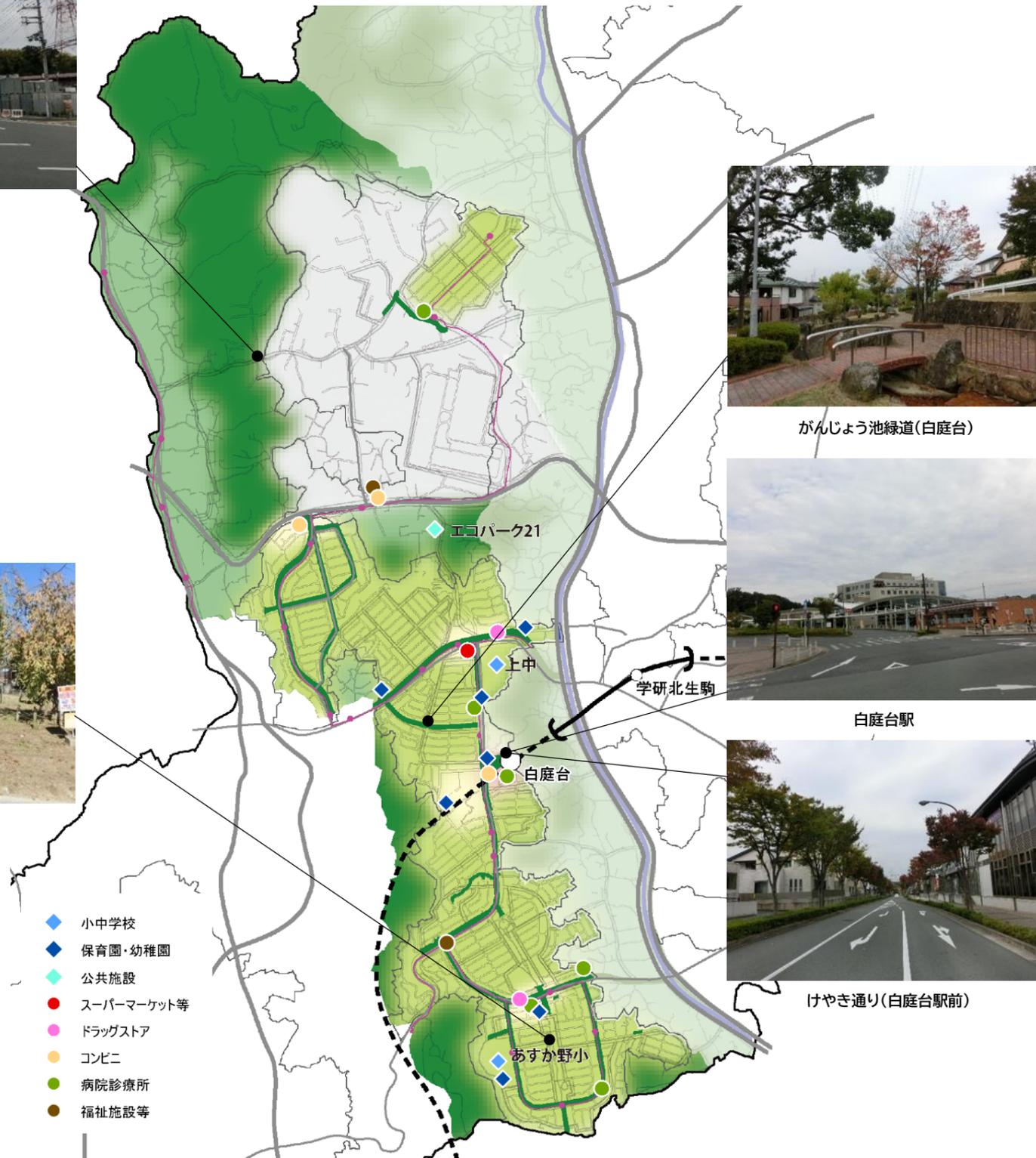
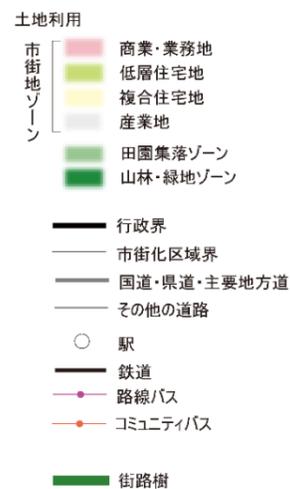
※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む学研北生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



学研生駒テクノエリア



あすか野緑道



がんじょう池緑道(白庭台)



白庭台駅



けやき通り(白庭台駅前)

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 商店街など身近なお店の活気
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む学研北生駒駅周辺地域の声を集めたものです。

東生駒駅（北）圏域 データ集

1. 歴史・なりたち

本圏域は、古くは小明村、辻村として清滝街道沿いに自給的農村として存した地域でしたが、昭和43年(1968年)の近鉄東生駒駅の新設に伴い、矢田丘陵西麓を中心に宅地開発が進められ、昭和40年から50年にかけての人口増加率は辻町で約620%、小明町で約244%と急激に人口が増加した地域であります。

2. 特徴

矢田丘陵と生駒台丘陵に挟まれた谷筋（東生駒川流域）に市街地が形成されており、南北に縦走する主要幹線道路（国道168号線）の東西にぶどうの房状に複数の戸建て住宅開発地が存しています。国道168号線に加え、阪奈道路辻町インターが存するなど交通至便な地域であり、国道沿いには多くの商業施設が建ち並んでいます。また、近鉄東生駒駅までバスで約5分以内という利便性の良さから、戸建て住宅に加え集合住宅（マンション）も多く立地しています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減（2020年→2040年）

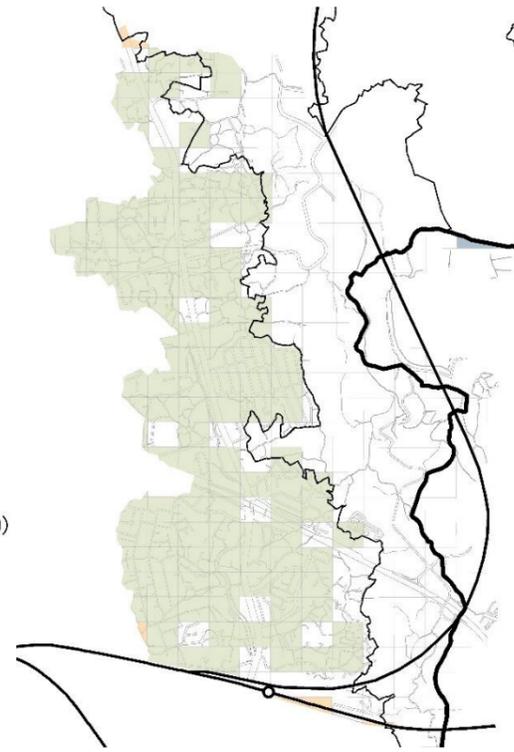
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン（人）												住民基本台帳（R2.4.1） 世帯数
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
小明町	—	4,335	3,955	-8.8%	602	541	-10.2%	3,229	2,676	-17.1%	504	738	46.5%	1,756
辻町	—	5,995	5,649	-5.8%	944	784	-16.9%	4,408	3,976	-9.8%	643	889	38.2%	2,684
合計	—	10,330	9,604	-7.0%	1,546	1,325	-14.3%	7,637	6,652	-12.9%	1,147	1,627	41.9%	4,440

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年推計）』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減（2020年→2040年）

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	小明町	28.5	26.0
辻町	74.0	69.7	-5.8%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測

(3) 交通

拠点駅 東生駒駅（近鉄奈良線）

- 乗降者数 17,682人/日（H30.11調査）
- バス路線数 2路線

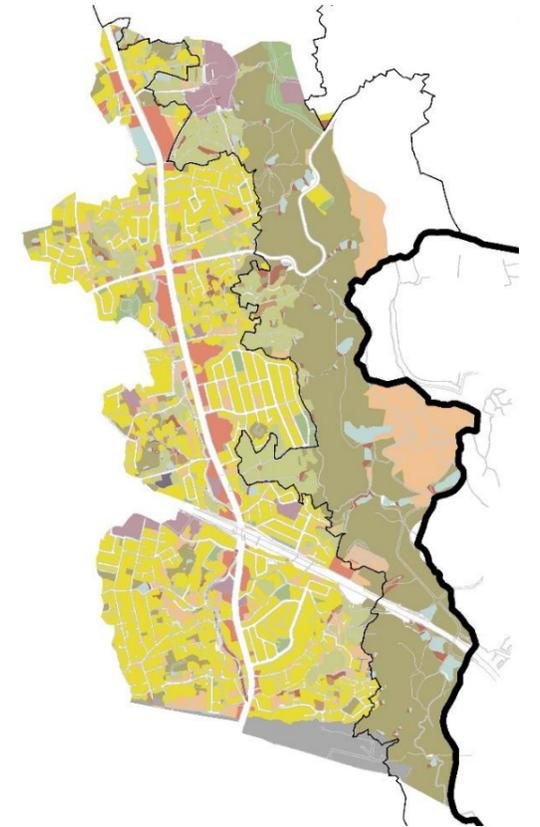
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
ひかりが丘（稲蔵経由）	2.0	1.1	2.7
あすか野センター（稲蔵経由）	3.0	2.0	1.7

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

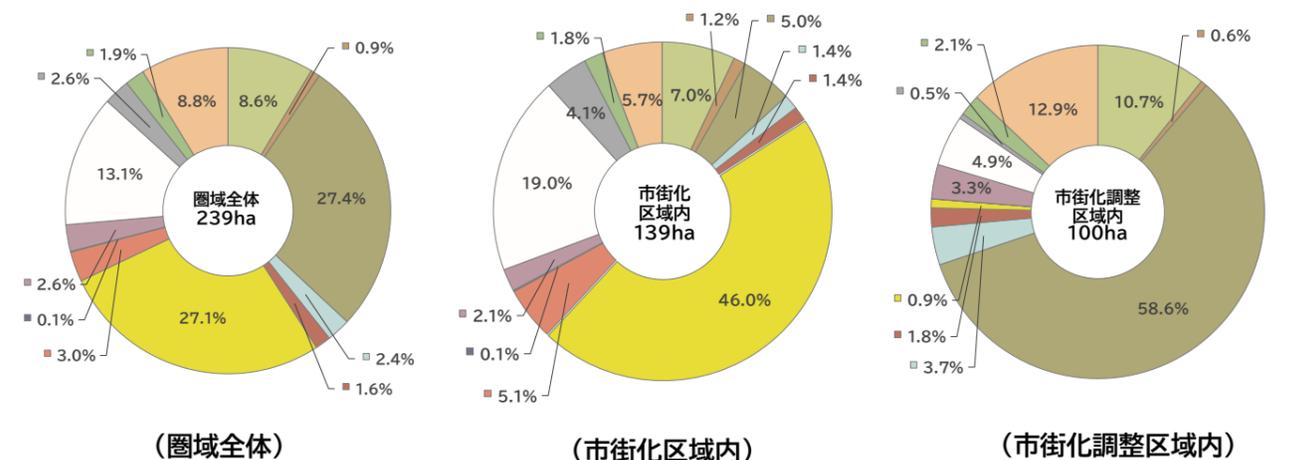
(4) 土地利用

土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



稲蔵神社



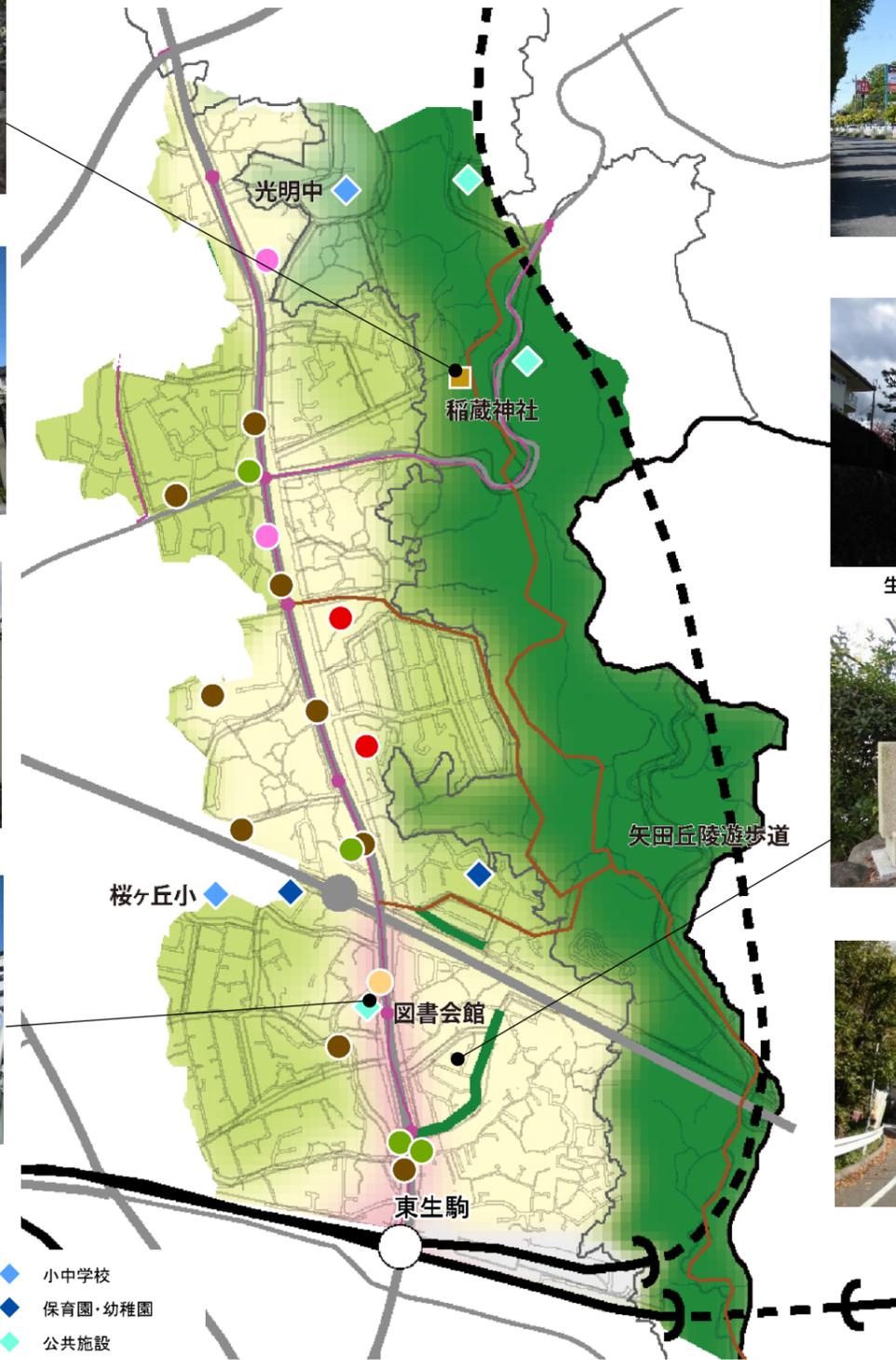
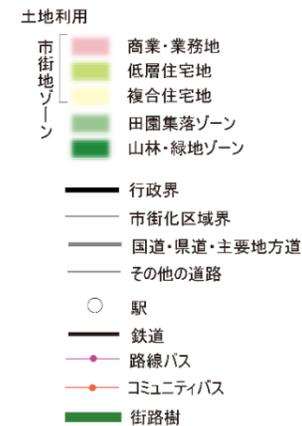
閑静な住宅街



生駒山系を望む良好な眺望



生駒市図書館



市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



国道沿いの商業集積



生駒山を望む高台の集合住宅



矢野代官所跡



駅徒歩圏の閑静な住宅街

1. 歴史・なりたち

本圏域は、古くは山崎村、菜畑村として清滝街道（現国道168号）沿いの一部に自給的農村が存した以外は大部分が山林でありました。昭和43年（1968年）の近鉄東生駒駅の新設に伴い、矢田丘陵西麓を中心に昭和40年から50年代にかけて鉄道事業者による大規模住宅地開発が進められました。また、矢田丘陵西麓に縦走る幹線道路（市道菜畑乙田線）沿いに民間事業者による大規模住宅地開発が近年も引き続き行われている地域でもあります。

2. 特徴

生駒山を望む矢田丘陵西麓に、豊かな自然環境と共生する本市を代表する閑静な住宅地が南北に縦走る幹線道路沿いに広がっています。沿道には生活利便施設の集積が複数存在し、第二阪奈有料道路の小瀬ランプや奈良市域に至る県道（二条谷田線）が存するなど、交通、生活利便、自然環境の三拍子のそろった地域であります。また、隣接する奈良市域に大学が立地し学生の街としての顔ものぞかせています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減（2020年→2040年）

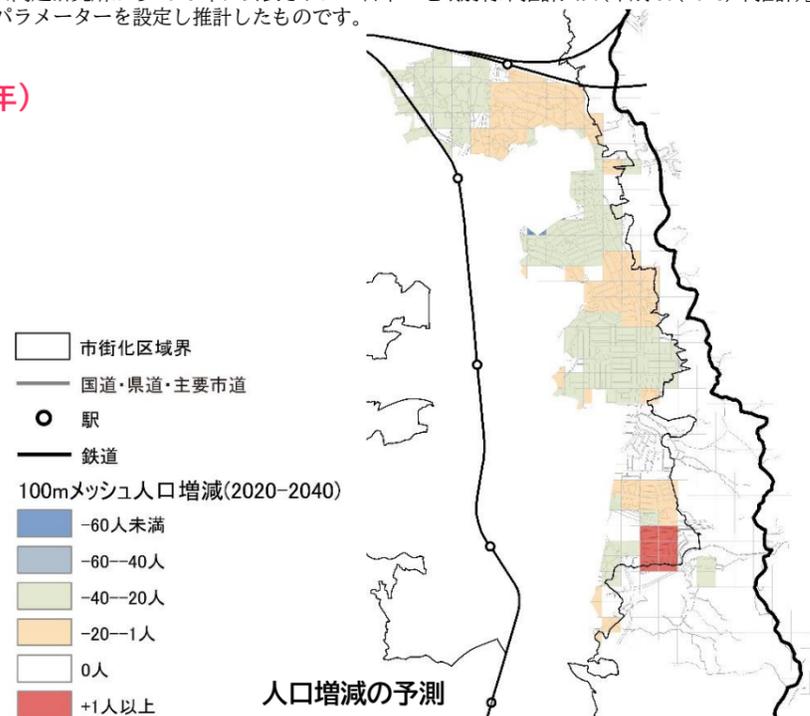
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン（人）												住民基本台帳（R2.4.1） 世帯数
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
東生駒1	S43	2,589	2,416	-6.7%	349	319	-8.6%	1,972	1,636	-17.0%	268	461	72.0%	1,094
東生駒2・3・4	S45	1,952	1,573	-19.4%	232	196	-15.5%	1,338	1,024	-23.5%	382	353	-7.6%	843
さつき台	S56	2,444	2,099	-14.1%	285	288	1.0%	1,787	1,331	-25.5%	372	480	29.1%	966
南山手台	H13	751	799	6.4%	192	123	-35.8%	542	642	18.5%	17	34	100.0%	203
山崎町	—	2,426	2,306	-5.0%	329	324	-1.4%	1,840	1,525	-17.1%	257	457	77.6%	1,082
吉分町 翠光台	H24	8,063	7,799	-3.3%	1,345	1,139	-15.3%	5,966	5,531	-7.3%	752	1,129	50.3%	3,265
小瀬町	—	3,194	2,895	-9.3%	468	405	-13.5%	2,297	1,971	-14.2%	429	519	21.0%	1,401
合計	—	21,419	19,887	-7.2%	3,200	2,795	-12.7%	15,744	13,659	-13.2%	2,475	3,433	38.7%	8,854

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減（2020年→2040年）

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度（人/ha）		
	2020年	2040年	増減率
東生駒1	60.2	56.2	-6.6%
東生駒2・3・4	32.0	25.8	-19.3%
さつき台	78.8	67.7	-14.1%
南山手台	107.3	114.2	6.4%
山崎町	89.9	85.4	-5.0%
吉分町 翠光台	35.2	34.1	-3.3%
小瀬町	21.3	19.3	-9.3%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



(3) 交通

拠点駅 東生駒駅（近鉄奈良線）

- 乗降者数 17,682人/日（H30.11調査）
- バス路線数 4路線

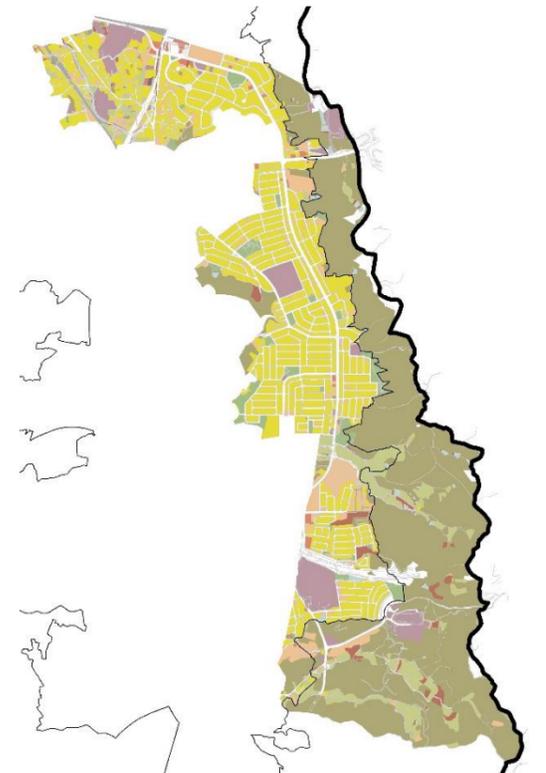
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
帝塚山住宅・帝塚山大学方面	8.4	6.7	3.0
さつき台住宅	4.0	1.9	3.3
翠光台(さつき台経由)	1.0	0.6	2.0
小瀬保健福祉ゾーン(さつき台経由)	3.0	1.4	3.0

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

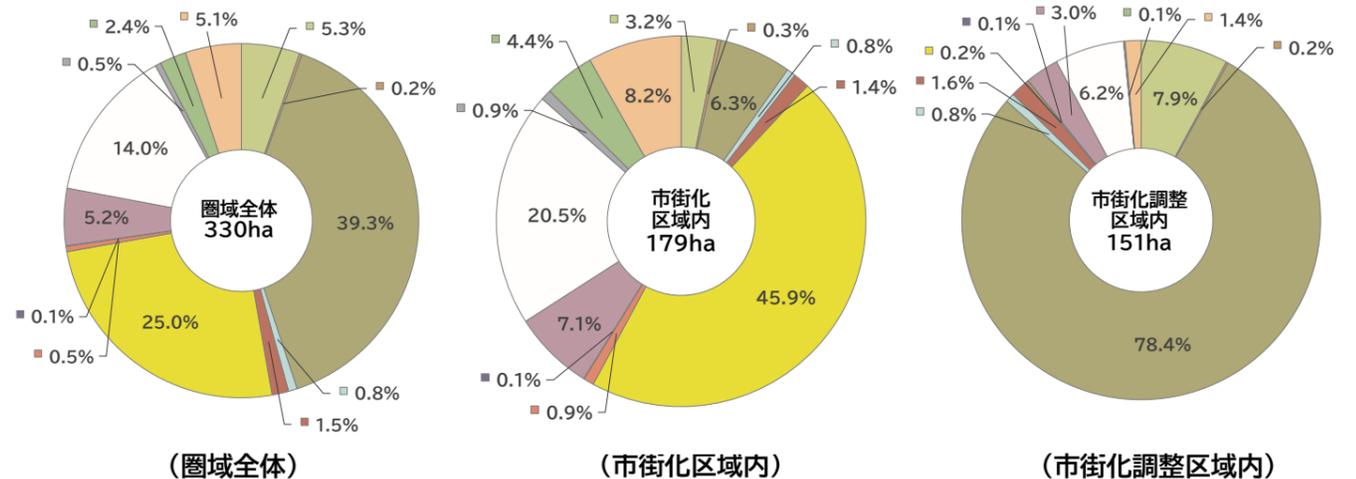
(4) 土地利用

土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



近鉄東生駒駅



ふるさとミュージアム



街路樹のある閑静な住宅街



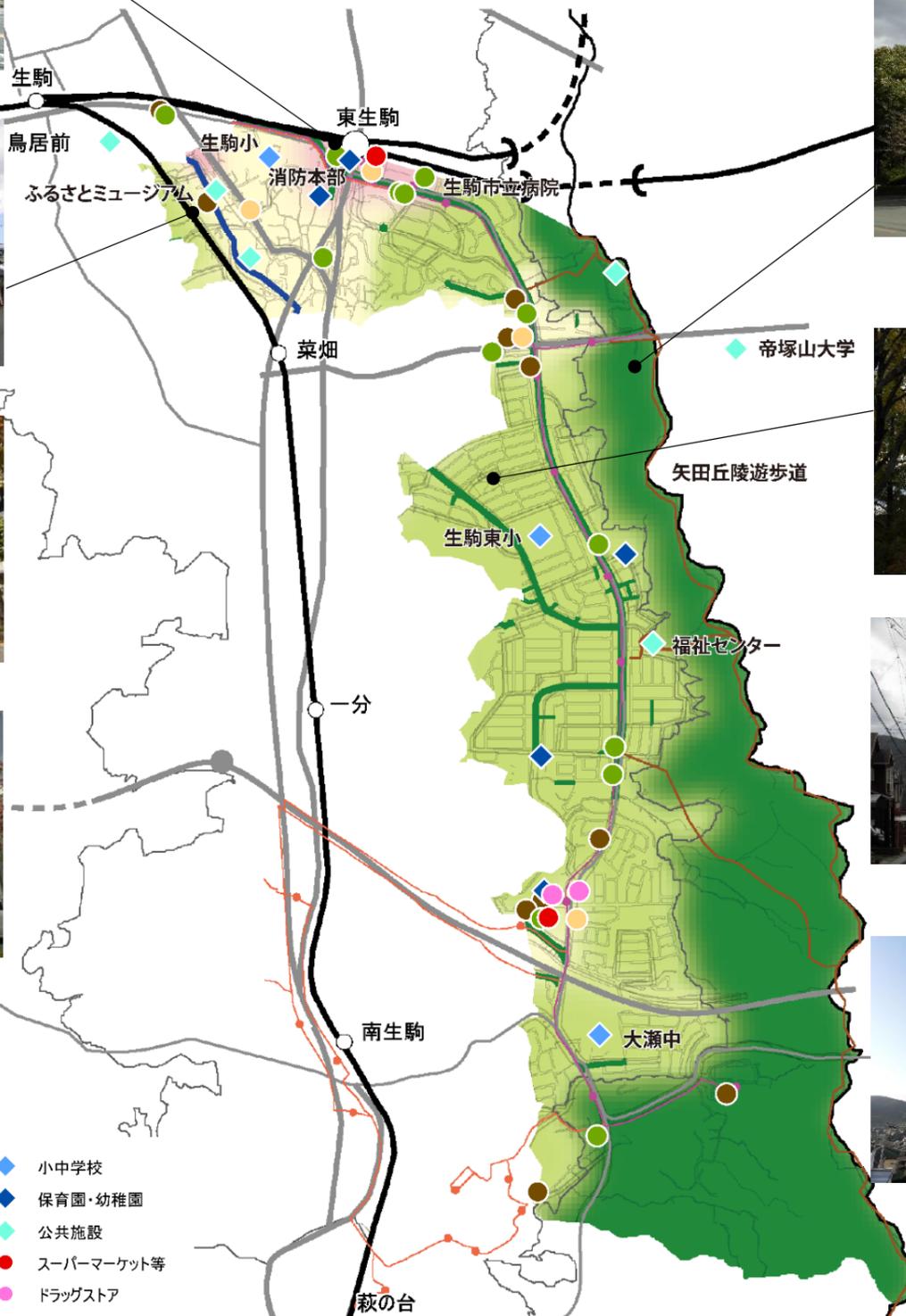
オープン外構の街並み

土地利用

- 市街地ゾーン
- 商業・業務地
- 低層住宅地
- 複合住宅地
- 山林・緑地ゾーン

- 行政界
- 市街化区域界
- 国道・県道・主要地方道
- その他の道路
- 駅
- 鉄道
- 路線バス
- コミュニティバス
- 街路樹

- ◆ 小中学校
- ◆ 保育園・幼稚園
- ◆ 公共施設
- スーパーマーケット等
- ドラッグストア
- コンビニ
- 病院診療所
- 福祉施設等
- 主要歴史文化資源



市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合



帝塚山大学(奈良市域)



東生駒南第2公園



地区計画のある街並み



生駒山の眺望

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。

生駒駅（北）圏域 データ集

1. 歴史・なりたち

本圏域は、古くは俵口村、谷田村の自給的農村でしたが、大正3年(1914年)の大軌鉄道(現在の近鉄奈良線)や昭和34年の阪奈道路の開通に伴い、民間事業者による宅地開発が進められ、昭和40年から50年にかけての人口増加率は約270%と急激に人口が増加した地域であります。また、本市の中心地として発展する素地を形成した地域でもあります。

2. 特徴

本圏域の北西に位置する別所池を源流とする竜田川流域再上流部に位置し、生駒山系と生駒台丘陵に挟まれた谷筋(生駒谷)に山裾まで市街地が形成されています。斜面地形を活かした陽当たりの良い住宅地は、生駒山や矢田丘陵の眺望景観も良く自然が身近に感じることができ、近鉄生駒駅までバスで約15分の圏域であるなど交通至便な地域でもあります。また、生駒駅北口では市街地再開発事業による基盤整備が順次進められ、公共・商業・業務施設等が集積する本市の玄関口にふさわしい都市空間が形成されています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減(2020年→2040年)

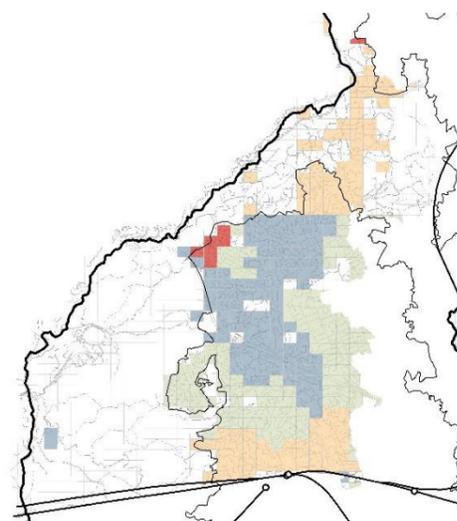
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン(人)												住民基本台帳(R2.4.1)
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
生駒台北	S36	539	424	-21.3%	77	50	-35.1%	360	278	-22.8%	102	96	-5.9%	253
生駒台南	S36	870	691	-20.6%	74	86	16.2%	602	430	-28.6%	194	175	-9.8%	410
新生駒台	S40	747	608	-18.6%	76	83	9.4%	518	378	-27.0%	153	147	-3.6%	330
松美台	S47	1,882	1,533	-18.5%	227	193	-14.7%	1,304	989	-24.2%	351	351	-0.1%	835
光陽台	S52	473	307	-35.2%	30	33	10.6%	288	181	-37.2%	155	93	-40.2%	229
喜里が丘	S57	1,751	1,447	-17.4%	194	182	-6.3%	1,280	918	-28.3%	277	347	25.3%	740
北新町	—	1,940	1,651	-14.9%	263	202	-23.3%	1,367	1,119	-18.1%	310	330	6.3%	992
東松ヶ丘	—	1,399	1,280	-8.5%	172	166	-3.7%	1,040	864	-16.9%	187	250	33.7%	694
西松ヶ丘	—	2,071	1,819	-12.2%	261	240	-8.0%	1,501	1,206	-19.7%	309	373	20.8%	936
谷田町	—	1,558	1,455	-6.6%	252	195	-22.7%	1,129	1,025	-9.2%	177	235	33.3%	715
桜ヶ丘	—	864	775	-10.3%	123	105	-14.3%	630	520	-17.5%	111	150	35.9%	322
俵口町	—	7,628	7,245	-5.0%	1,063	1,025	-3.6%	5,824	4,837	-16.9%	741	1,383	86.7%	3,074
南田原町	—	2,182	1,850	-15.2%	260	246	-5.2%	1,609	1,194	-25.8%	313	410	30.7%	921
合計	—	23,905	21,085	-11.8%	3,072	2,806	-8.7%	17,454	14,900	-14.6%	3,379	4,341	28.5%	10,451

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減(2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	生駒台北	49.0	38.5
生駒台南	54.4	43.2	-20.6%
新生駒台	57.5	46.8	-18.6%
松美台	89.6	73.0	-18.5%
光陽台	31.6	20.5	-35.2%
喜里が丘	64.9	53.6	-17.4%
北新町	40.4	34.4	-14.9%
東松ヶ丘	93.3	85.3	-8.5%
西松ヶ丘	64.7	56.8	-12.2%
谷田町	55.7	52.0	-6.6%
桜ヶ丘	72.0	64.6	-10.3%
俵口町	24.1	22.9	-5.0%
南田原町	9.7	8.2	-15.2%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測

(3) 交通

拠点駅 生駒駅(近鉄奈良線)

- 乗降者数 47,254人/日(H30.11調査)
- バス路線数 6路線(うちコミュニティバス路線数2路線)

方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
生駒台循環(外回り・内回り)	7.0	3.9	6.3
田原台一丁目(喜里が丘方面)	6.3	4.1	7.0
北田原(南田原方面)	1.3	1.0	2.3
あすか野センター(東生駒駅経由)	3.3	1.9	1.7
コミュニティバス北新町線	0.3	0.9	0.3
コミュニティバス光陽台線	0.7	1.0	0.7

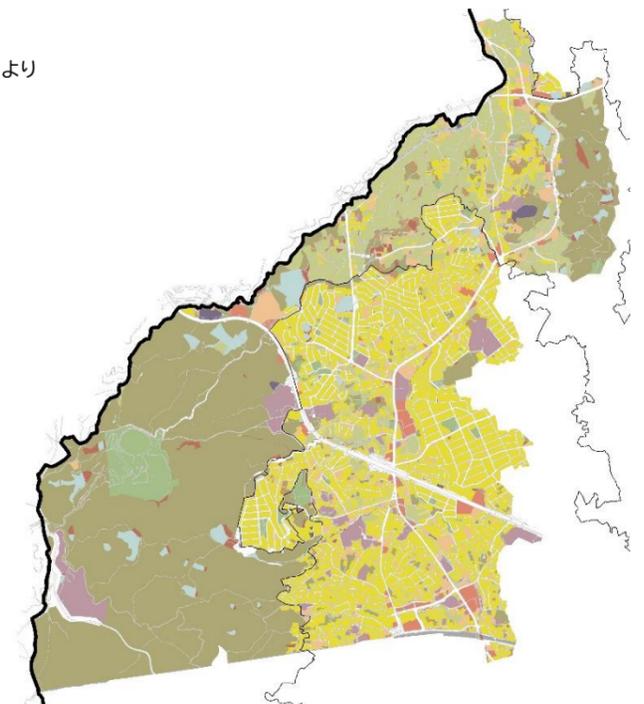
2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

(4) 土地利用

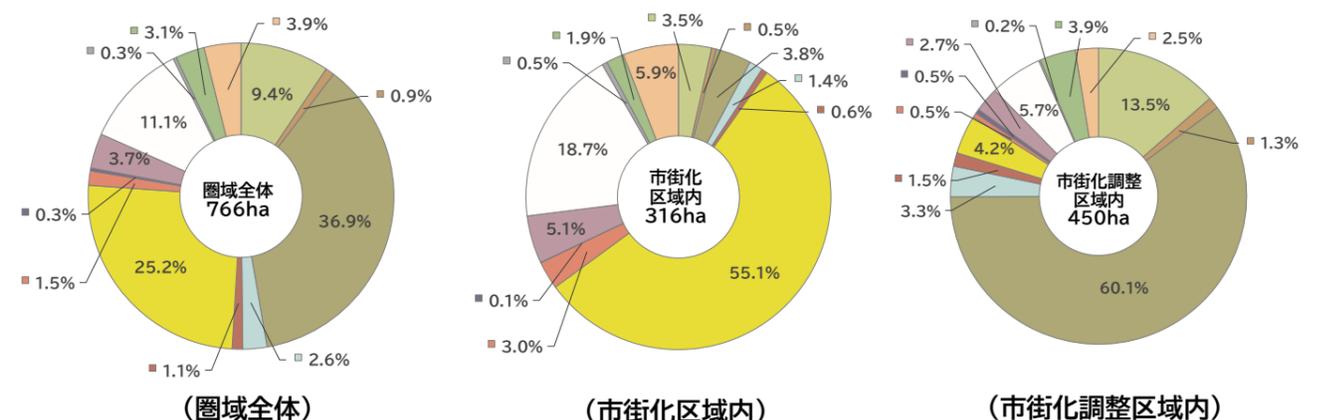
土地利用の状況

※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



近隣公園での緑化活動



古民家集落(南田原の集落)



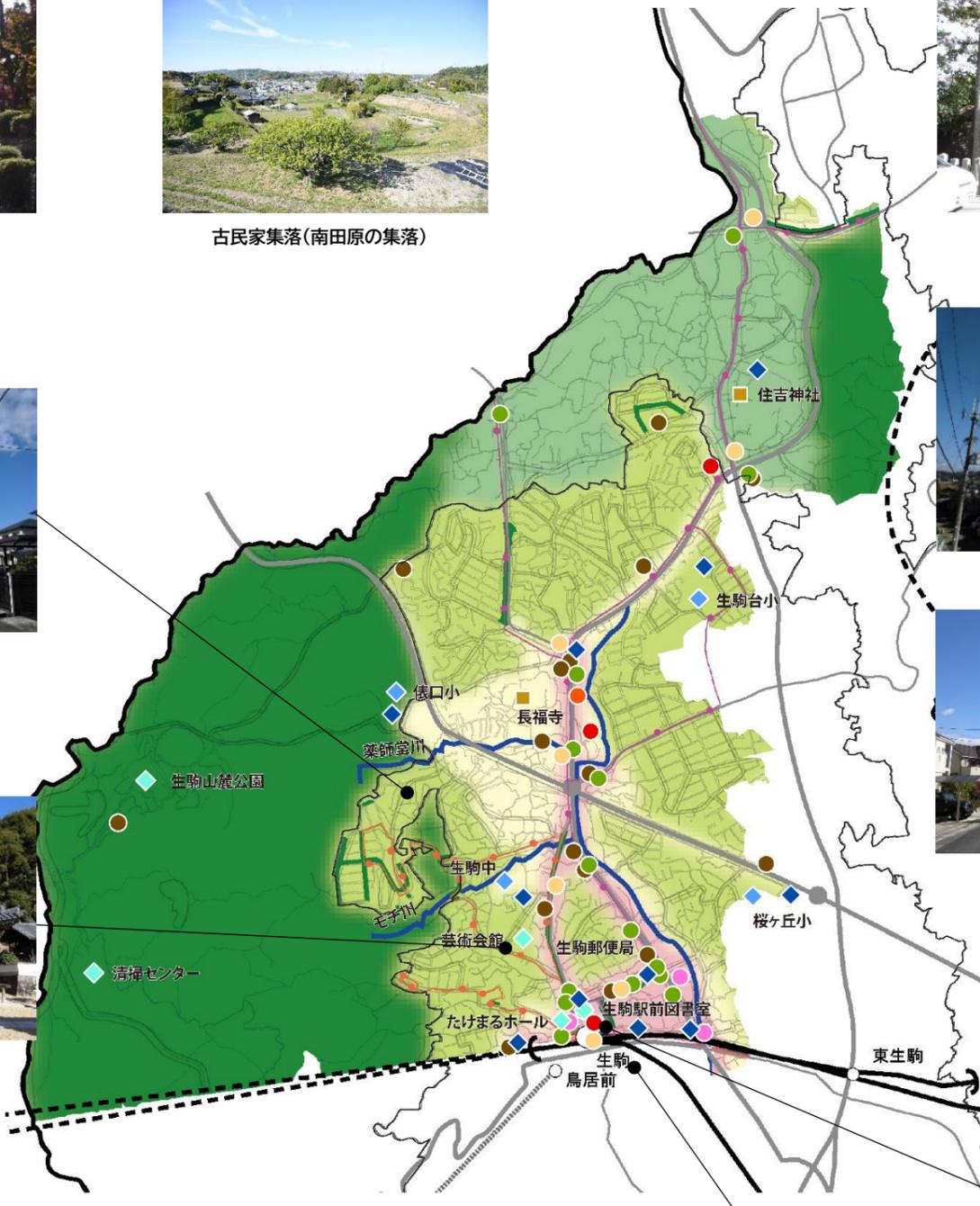
住吉神社(お松の宮)



良好な眺望空間(生駒山系)



長福寺本堂(長文)



土地利用

市街地ゾーン

行政界

市街化区域界

国道・県道・主要地方道

その他の道路

駅

鉄道

路線バス

コミュニティバス

街路樹

商業・業務地
低層住宅地
複合住宅地
田園集落ゾーン
山林・緑地ゾーン

◆ 小中学校
◆ 保育園・幼稚園
◆ 公共施設
● スーパーマーケット等
● ドラッグストア
● ホームセンター
● コンビニ
● 病院診療所
● 福祉施設等
■ 主要歴史文化資源

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



良好な眺望景観(矢田丘陵)



閑静な住宅街



バルテラスいこまバルステージ



生駒駅北口市街地再開発事業

1. 歴史・なりたち

本圏域は、古くは谷田村、菜畑村の自給的農村でしたが、大正3年(1914年)の大軌鉄道(現近鉄奈良線)の開通に伴い宝山寺に至る参詣線が開かれ、参詣者への飲食店や土産物店、料理旅館等の施設が建ち並び、門前町としての商業地域が、また、大正7年の日本初となるケーブルの開通、昭和4年の生駒山上遊園地の開園とケーブルの延伸など、商業の中心地、観光都市として発展する素地が形成されました。その後、昭和30年から40年代にかけて商業地域の周辺、生駒山の裾野に戸建て住宅地の開発が進められ、その後も市役所庁舎をはじめ、多くの公共施設が立地するなど、本市の都市拠点としての市街地が形成されています。

2. 特徴

矢田丘陵を望む生駒山東麓に市街地が形成され、生駒駅南口周辺地域は、ぴっくり通りを中心とする商店街に加え、奈良県下初の市街地再開発事業で整備された商業ビルが立地しています。生駒駅南口を起点とする宝山寺や生駒山上につながるケーブルは観光客のほか市民の生活の足として利用されています。宝山寺に至る参詣道は石段が趣のある風情をのぞかせ、生駒山東麓の斜面地形を活かした住宅地は陽当たりも良く、矢田丘陵を望む眺望景観も良好で、歴史や自然を身近に感じることのできる生駒らしさを兼ね備えた地域でもあります。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン (人)												住民基本台帳 (R2.4.1)	
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上				世帯数
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率		
東新町	—	505	445	-11.9%	51	51	0.0%	385	339	-11.9%	69	92	34.1%	295	
本町	—	481	365	-24.2%	37	35	-6.7%	339	231	-31.9%	105	99	-5.7%	337	
元町1	—	210	173	-17.6%	14	19	35.7%	149	118	-20.8%	47	36	-23.4%	120	
元町2	—	722	672	-6.9%	109	94	-13.8%	530	462	-12.8%	83	116	39.8%	344	
山崎新町	—	1,169	983	-15.9%	121	116	-3.9%	830	658	-20.7%	218	209	-3.8%	631	
仲之町	—	636	581	-8.7%	76	81	6.7%	474	382	-19.4%	86	118	37.4%	329	
軽井沢町	—	615	490	-20.3%	66	61	-7.3%	434	298	-31.3%	115	131	14.1%	281	
門前町	—	782	600	-23.3%	62	65	4.9%	537	364	-32.2%	183	171	-6.7%	423	
東旭ヶ丘	—	1,356	1,244	-8.3%	181	163	-10.1%	1003	858	-14.5%	172	223	29.7%	667	
西旭ヶ丘	—	1,227	1,075	-12.4%	131	143	9.6%	899	710	-21.0%	197	222	12.9%	644	
新旭ヶ丘	—	765	625	-18.3%	86	80	-7.0%	523	408	-22.0%	156	137	-12.2%	352	
緑ヶ丘	—	1,229	1,058	-13.9%	173	145	-16.4%	869	691	-20.5%	187	222	18.9%	525	
菜畑町	—	71	58	-18.6%	5	8	68.9%	51	34	-33.3%	15	16	6.7%	41	
合計	—	9,769	8,370	-14.3%	1,630	1,792	9.9%	8,139	6,578	-19.2%	1,112	1,061	-4.6%	4,989	

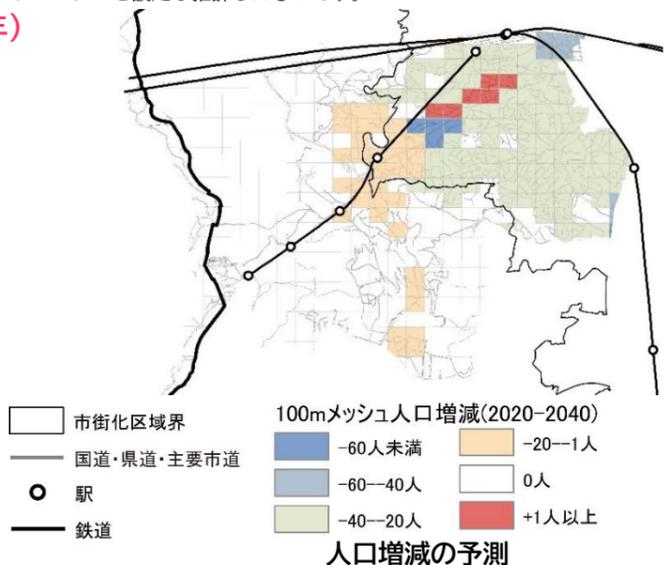
※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町別の人口密度の状況

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
東新町	63.1	55.6	-11.9%
本町	68.7	52.1	-24.2%
元町1	35.0	28.8	-17.7%
元町2	31.4	29.2	-7.0%
山崎新町	167.0	140.5	-15.9%
仲之町	106.0	96.8	-8.7%
軽井沢町	36.2	28.8	-20.3%
門前町	7.6	5.8	-23.3%
東旭ヶ丘	84.8	77.8	-8.3%
西旭ヶ丘	61.4	53.8	-12.4%
新旭ヶ丘	54.7	44.6	-18.3%
緑ヶ丘	53.4	46.0	-13.9%
菜畑町	0.5	0.4	-18.6%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



(3) 交通

拠点駅 生駒駅(近鉄奈良線)

- 乗降者数 47,254人/日(H30.11調査)
- バス路線数 2路線(うちコミュニティバス路線1路線)

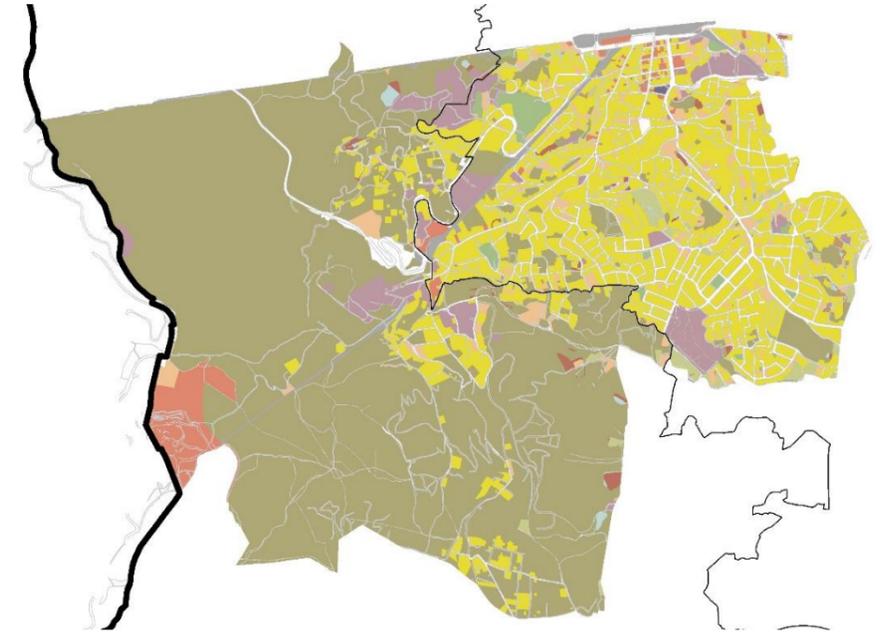
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
中菜畑二丁目	4.7	2.9	3.3
コミュニティバス門前線	0.7	1.9	0.3

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

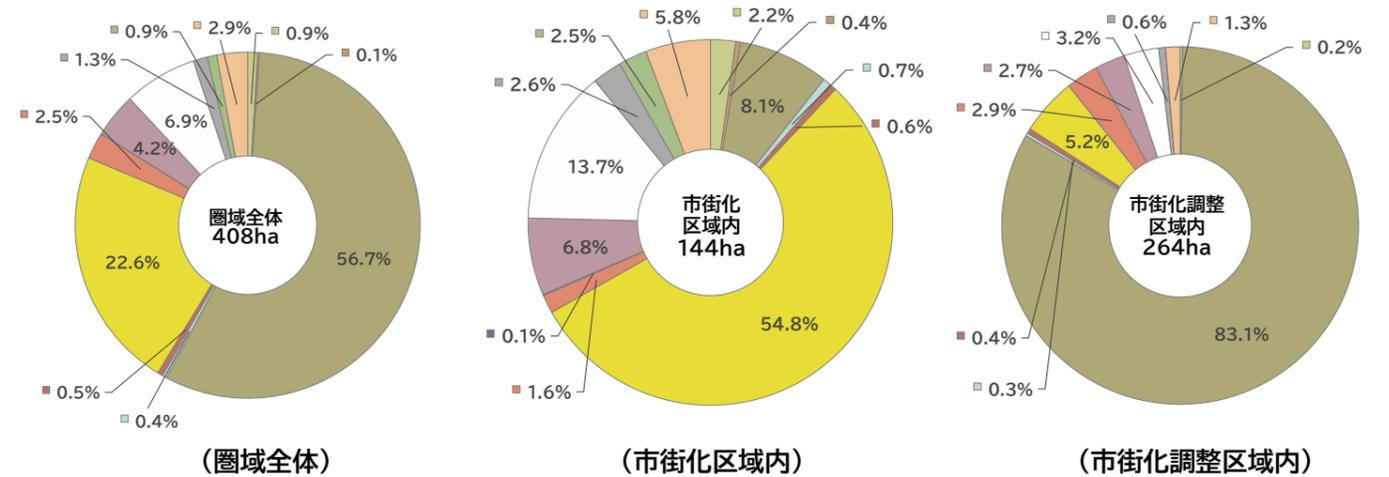
(4) 土地利用

土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他の自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

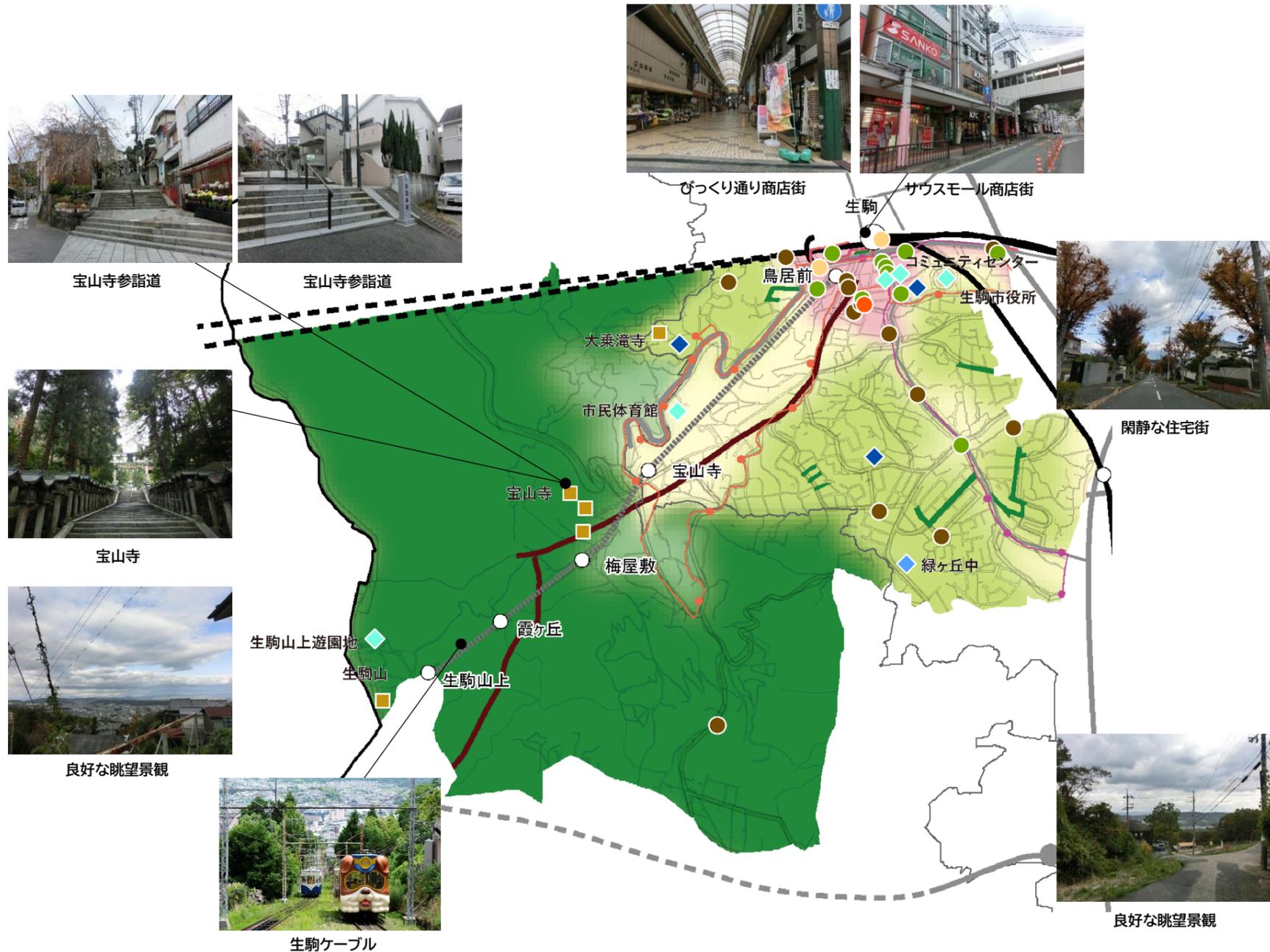
〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



土地利用

- | | | |
|---------------|----------|--------------|
| 市街地ゾーン | 商業・業務地 | ◆ 小中学校 |
| | 低層住宅地 | ◆ 保育園・幼稚園 |
| | 複合住宅地 | ◆ 公共施設 |
| | 山林・緑地ゾーン | ● スーパーマーケット等 |
| — 行政界 | | ● ドラッグストア |
| — 市街化区域界 | | ● コンビニ |
| — 国道・県道・主要地方道 | | ● 病院診療所 |
| — その他の道路 | | ● 福祉施設等 |
| ○ 駅 | | ■ 主要歴史文化資源 |
| — 鉄道 | | |
| — 路線バス | | |
| — コミュニティバス | | |
| — 街路樹 | | |

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む生駒駅・東生駒駅周辺地域の声を集めたものです。

菜畑駅・一分駅圏域 データ集

1. 歴史・なりたち

生駒山の麓から矢田丘陵の麓に広がる菜畑、壱分地区は、古くから農業を中心とした田園集落を形成してきました。矢田丘陵の麓では、井戸や湧水池の良質な水を利用し酒造が盛んに行われていました。昭和30年代後半には、生駒高校の開設に伴いインフラの整備が進むと周辺の宅地化も徐々に進み、昭和40年代以降は、菜畑駅、一分駅の徒歩圏を中心に宅地化が急速に進み、市街地を形成してきました。

2. 特徴

生駒駅の南東約1kmから3kmに位置し、生駒駅までの所要時間は、菜畑駅から2分、一分駅から4分、大阪難波駅まで約30分の利便性です。西は生駒山、東は矢田丘陵の緑に囲まれた生駒谷に市街地が形成され、中央を竜田川が北から南へと流れ、これに沿って近鉄生駒線と国道168号線が並走しています。国道168号線のバイパス沿道には、スーパーやコンビニエンスストアが建ち並び、車中心の生活を反映した市街地が形成されてきました。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

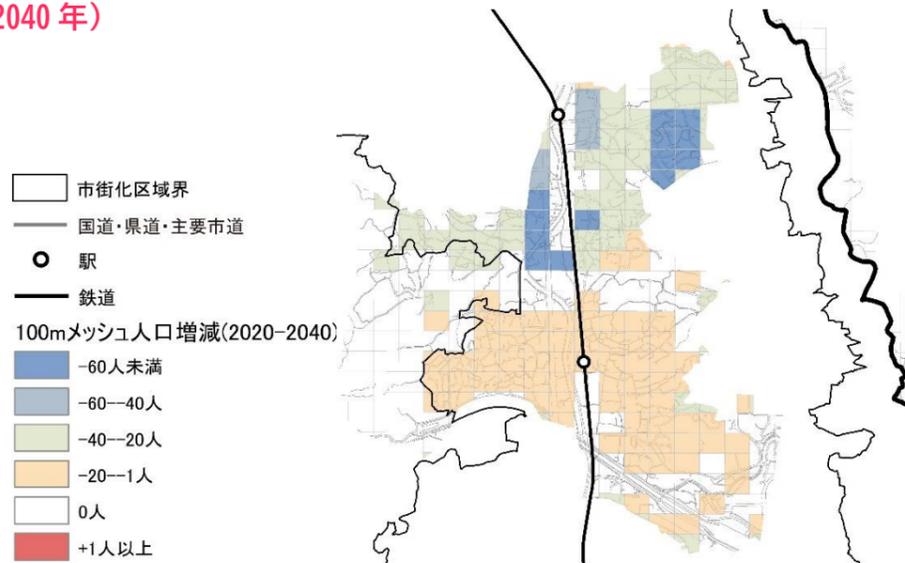
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン (人)												住民基本台帳 (R2.4.1)
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
東生駒	—	1,007	857	-14.9%	102	119	16.0%	707	556	-21.4%	198	182	-8.1%	457
月見町	—	2,370	2,241	-5.4%	347	298	-14.0%	1,815	1,561	-14.0%	208	382	83.9%	990
東菜畑	—	1,600	1,381	-13.7%	189	176	-6.9%	1,153	930	-19.3%	258	275	6.6%	728
中菜畑	—	8,063	7,799	-3.3%	1,345	1,139	-15.3%	5,966	5,531	-7.3%	752	1,129	50.1%	3,230
壱分町	—	510	430	-15.8%	48	53	10.7%	387	273	-29.5%	75	104	38.9%	243
西菜畑町	—	13,550	12,708	-6.2%	2,031	1,785	-12.2%	10,028	8,851	-11.7%	1,491	2,072	39.0%	5,648
合計	—													

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
東生駒	111.9	95.2	-14.9%
月見町	69.7	65.9	-5.4%
東菜畑	80.0	69.1	-13.7%
中菜畑	34.2	33.0	-3.5%
壱分町	14.2	11.9	-16.1%
西菜畑町			

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測

(3) 交通

拠点駅	菜畑駅 (近鉄けいはんな線)	一分駅 (近鉄生駒線)
● 乗降者数	3,686人/日 (H30.11調査)	5,154人/日 (H30.11調査)
● バス路線数	バス路線無し	バス路線無し

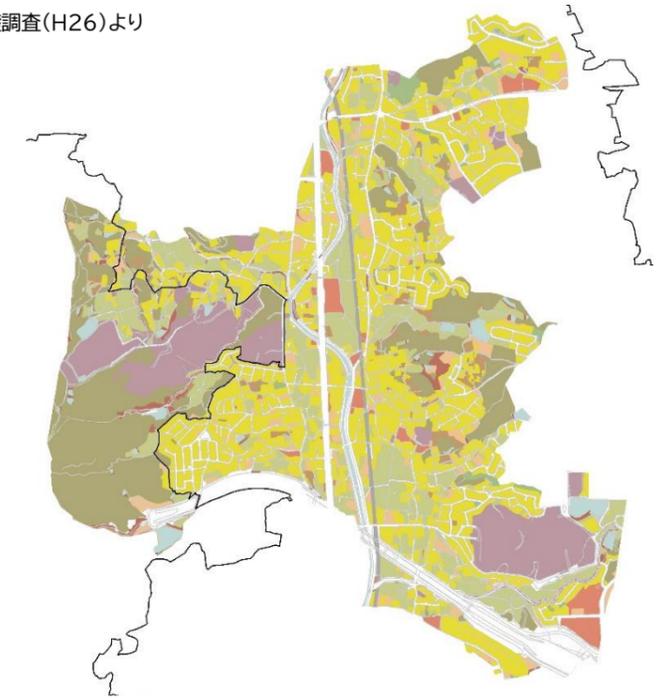
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
—	—	—	—
—	—	—	—

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

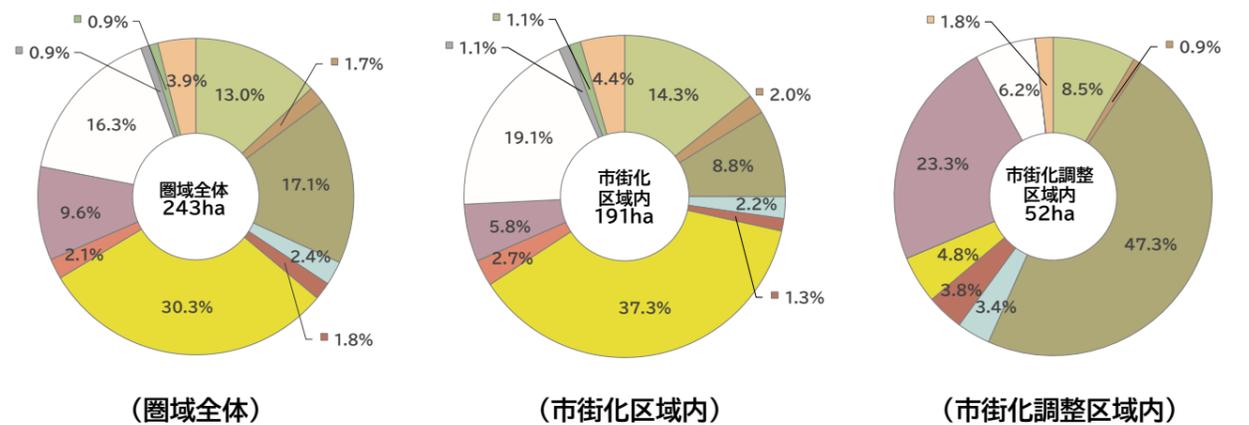
(4) 土地利用

土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 公共空地
- その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 国道・県道等の幹線道路の整備状況
- ・ 身近な生活道路の整備状況
- ・ 歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・ 公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・ 災害に対するまちの安全性
- ・ 日常の買い物の便利さ
- ・ 高齢者福祉施設への行きやすさ
- ・ 病院・診療所等への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む南生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



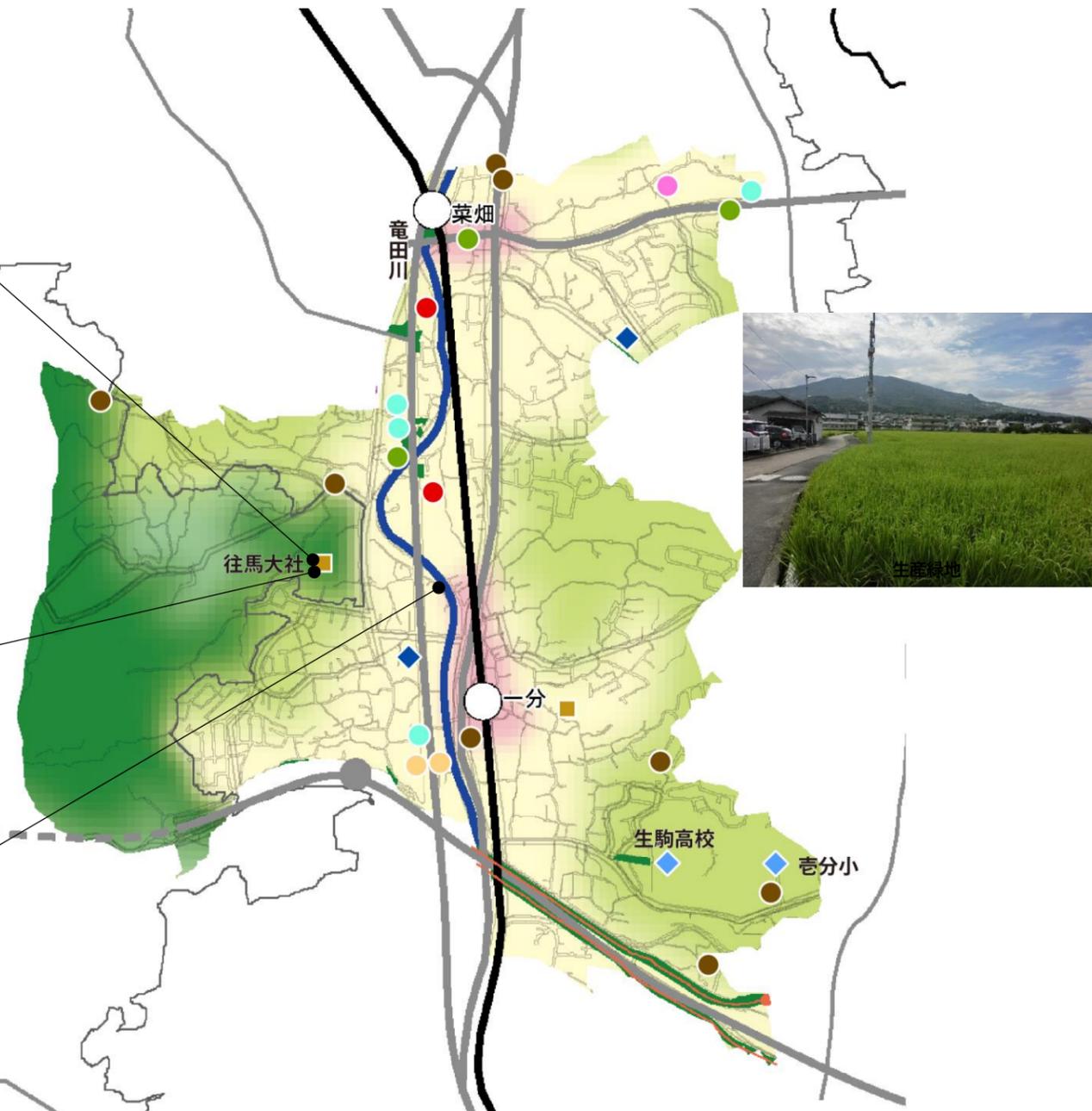
往馬大社



鎮守の杜



竜田川



土地利用

- | | | |
|-------------|----------|--------------|
| 市街地ゾーン | 商業・業務地 | ◆ 小中学校 |
| | 低層住宅地 | ◆ 保育園・幼稚園 |
| | 複合住宅地 | ● スーパーマーケット等 |
| | 田園集落ゾーン | ● ドラッグストア |
| | 山林・緑地ゾーン | ● コンビニ |
| 行政界 | | ● 病院診療所 |
| 市街化区域界 | | ● 福祉施設等 |
| 国道・県道・主要地方道 | | ■ 主要歴史文化資源 |
| その他の道路 | | |
| ○ 駅 | | |
| — 鉄道 | | |
| — 路線バス | | |
| — コミュニティバス | | |
| — 街路樹 | | |

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・ 子どもの教育環境の良さ
- ・ 治安の良さ
- ・ 閑静でゆとりのある住環境
- ・ 総合的に見た地域への満足度
- ・ 地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・ 災害時等の自分の住まいの安全性
- ・ 災害時等の避難場所や避難経路
- ・ 商店街など身近なお店の活気
- ・ 地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・ 地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む南生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



生活環境

南生駒駅圏域 データ集

2021年12月時点

1. 歴史・なりたち

生駒谷では最も早くからできた有里、萩原をはじめ、多くの集落が生駒山頂から矢田丘陵の麓まで、農業を中心とした田園集落を形成してきました。古くから大阪奈良を結ぶ主要道である暗越奈良街道沿いには、村役場、学校などが建ち並び、昭和2年の生駒線開通に伴い、南生駒駅周辺には、郵便局、駐在所などの公的施設のほか、診療所や商店などの生活利便施設が立地するなど南地区の中心地として発展してきました。昭和40年頃からは、南生駒駅徒歩圏を中心に宅地化が進み、昭和49年には、圏域内最大の計画的市街地である青山台が開発されるなど、市街地を形成してきました。

2. 特徴

市の南西部に位置し、南は平群町、西は東大阪市に隣接しています。生駒駅までの所要時間は、南生駒駅から6分、大阪難波駅まで約35分の利便性です。西は生駒山、東は矢田丘陵の緑に囲まれた生駒谷に市街地が形成され、中央を竜田川が北から南へと流れ、これに沿って近鉄生駒線と国道168号線が並走しています。圏域を東西に走る国道308号線（暗越奈良街道）沿いに建ち並んでいた店などは、ほとんど姿を消しましたが、生駒山中腹から山頂にかけて広がる棚田は、現在も、生駒の特徴的な景観として残っています。

3. 概況

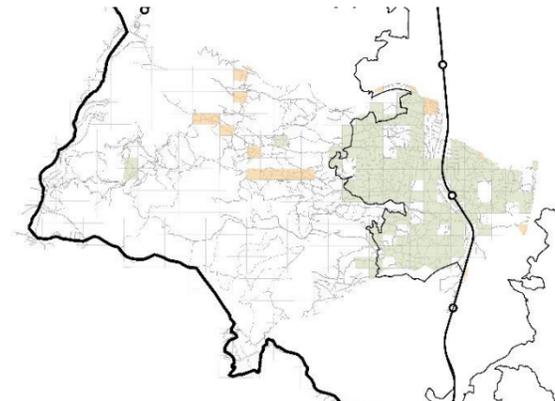
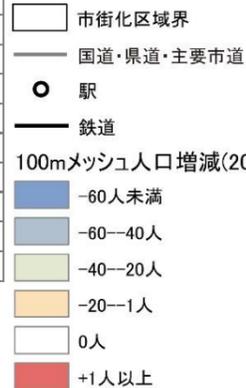
(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン (人)												住民基本台帳 (R2.4.1) 世帯数
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
有里町	—	1,705	1,478	-13.3%	203	197	-2.7%	1,243	978	-21.3%	259	303	17.1%	688
小瀬町	—	3,194	2,895	-9.3%	468	405	-13.5%	2,297	1,971	-14.2%	429	519	21.0%	1,388
萩原町	—	1,296	1,168	-9.8%	164	151	-7.9%	973	778	-20.0%	159	239	50.8%	503
小平尾町	—	2,484	2,303	-7.3%	286	328	14.8%	1,891	1,522	-19.5%	307	453	47.7%	1,060
青山台	S49	598	439	-26.7%	63	58	-7.9%	366	277	-24.3%	169	104	-38.3%	255
鬼取町	—	65	51	-21.8%	2	5	203.1%	49	29	-40.8%	14	17	28.5%	31
小倉寺町	—	51	37	-27.0%	7	4	-38.0%	33	25	-24.2%	11	8	-28.8%	24
大門町	—	95	66	-30.3%	6	6	-5.0%	68	39	-42.6%	21	21	-2.7%	40
藤尾町	—	77	57	-26.5%	11	7	-36.3%	55	31	-43.6%	11	19	67.6%	32
西畑町	—	69	56	-19.8%	6	7	24.5%	51	34	-33.3%	12	15	23.5%	22
合計	—	9,634	8,550	-11.3%	1,216	1,168	-3.9%	7,026	5,684	-19.1%	1,392	1,698	22.0%	4,043

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
	有里町	38.7	33.6
小瀬町	21.3	19.3	-9.3%
萩原町	30.1	27.2	-9.8%
小平尾町	9.8	9.1	-7.3%
青山台	59.8	43.9	-26.7%
鬼取町	1.0	0.8	-21.8%
小倉寺町	1.3	1.0	-27.0%
大門町	3.7	2.6	-30.3%
藤尾町	1.1	0.8	-26.5%
西畑町	0.6	0.4	-19.8%



人口増減の予測

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。

(3) 交通

拠点駅 南生駒駅 (近鉄生駒線)

- 乗降者数 5,256人/日 (H30.11調査)
- バス路線数 2路線

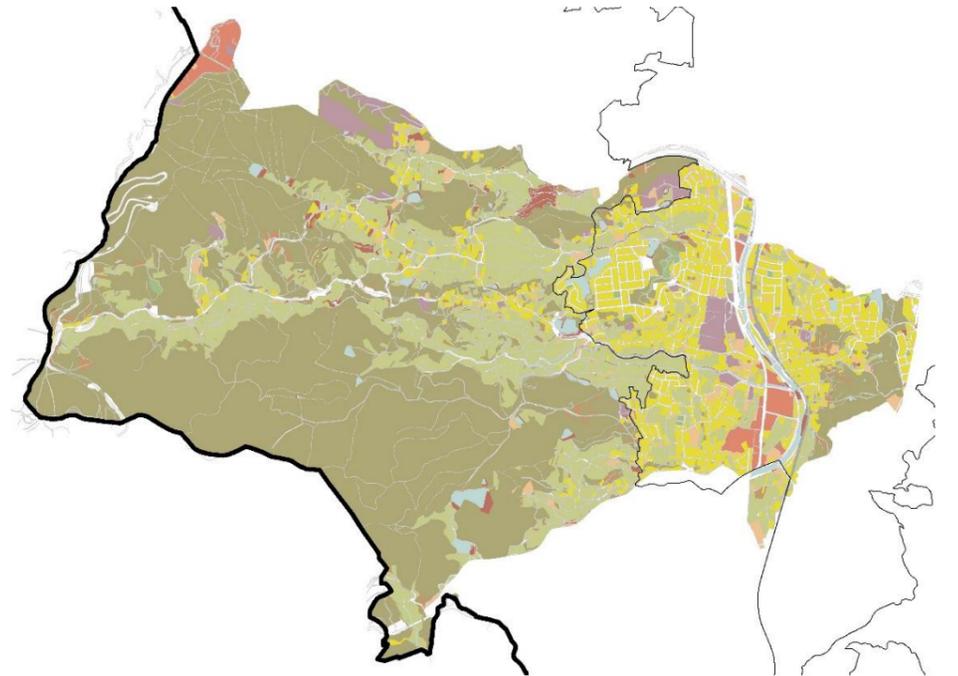
方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
有里方面	0.3	0.4	0
西畑方面	0.3	0.4	0.3

2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

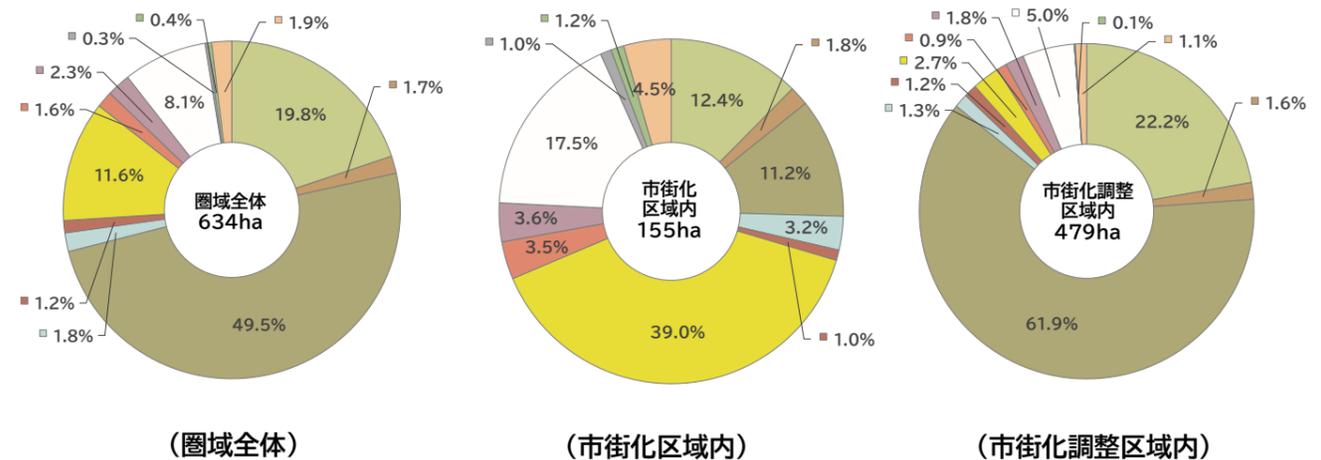
(4) 土地利用

土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

- 土地利用現況
- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 公共空地
- その他の空地



土地利用の割合



(圏域全体)

(市街化区域内)

(市街化調整区域内)

4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

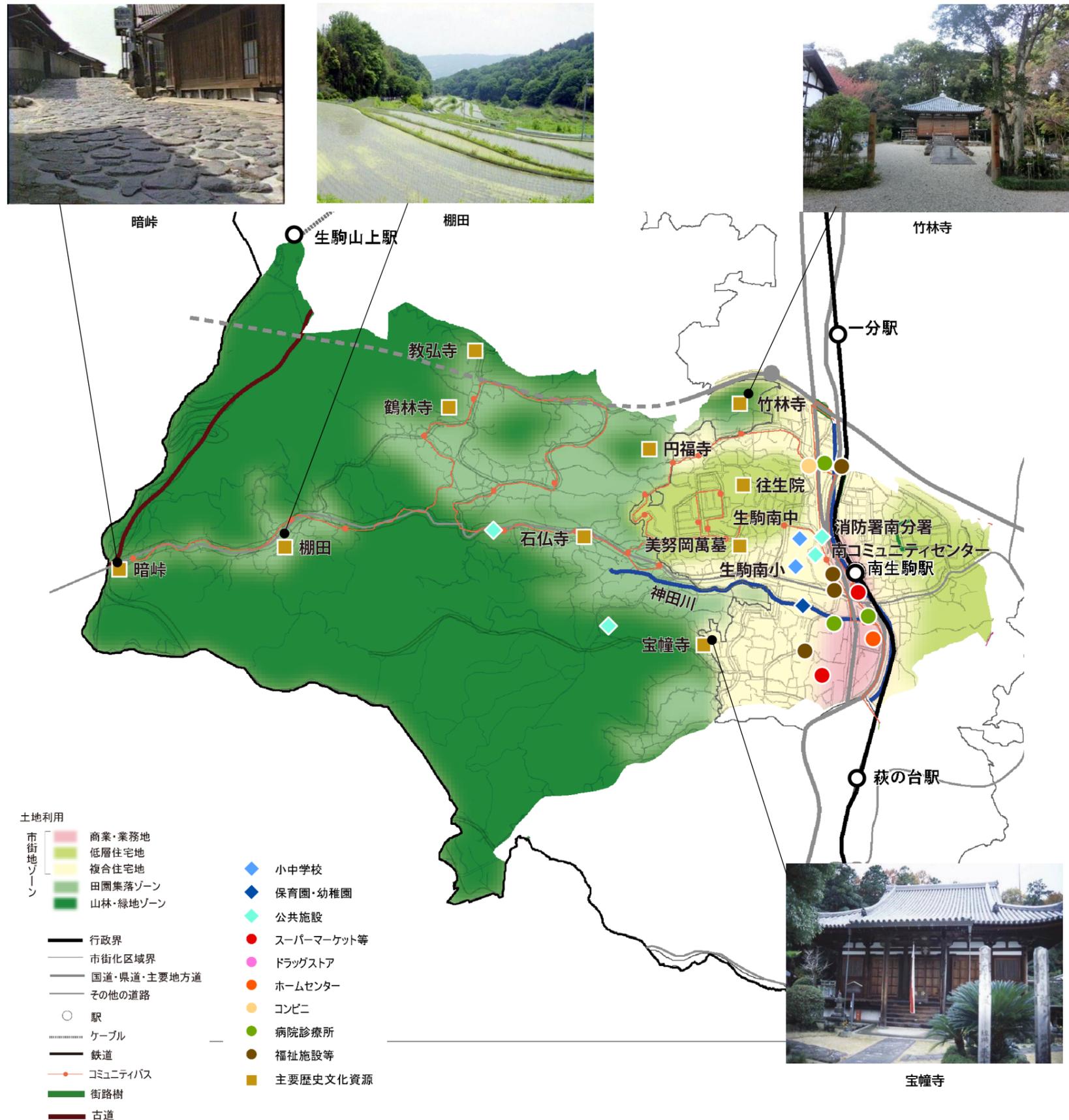
都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・国道・県道等の幹線道路の整備状況
- ・身近な生活道路の整備状況
- ・歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・災害に対するまちの安全性
- ・日常の買い物の便利さ
- ・高齢者福祉施設への行きやすさ
- ・病院・診療所等への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む南生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・子どもの教育環境の良さ
- ・治安の良さ
- ・閑静でゆとりのある住環境
- ・総合的に見た地域への満足度
- ・地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・災害時等の自分の住まいの安全性
- ・災害時等の避難場所や避難経路
- ・商店街など身近なお店の活気
- ・地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む南生駒駅周辺地域の声を集めたものです。

萩の台・東山駅圏域 データ集

1. 歴史・なりたち

生駒山東斜面から麓にかけて小平尾地区、矢田丘陵西斜面から麓にかけて乙田地区に古くから農業を中心とした田園集落を形成してきました。昭和40年頃から南生駒駅徒歩圏を中心に徐々に宅地化が進み、昭和50年代には、圏域内最大の計画的市街地である萩の台住宅地が開発されると共に萩の台駅が新たに開業し、市街化区域内においては、急速に人口が増加し、学校等の公共施設の整備も同時に行われました。

2. 特徴

市の最南端に位置し、東は大和郡山市、南は斑鳩町・平群町、西は東大阪市に隣接しています。生駒駅までの所要時間は、萩の台駅から8分、東山駅から11分、大阪難波駅まで約40分の利便性です。東は生駒山、西は矢田丘陵の緑に囲まれた生駒谷に市街地が形成され、中央を竜田川が北から南へと流れ、これに沿って近鉄生駒線と国道168号線が並走しています。国道168号線のバイパス整備が進んでいる区間では、新たに沿道サービス施設としてコンビニエンスストアが出店しています。

3. 概況

(1) 町別人口の増減 (2020年→2040年)

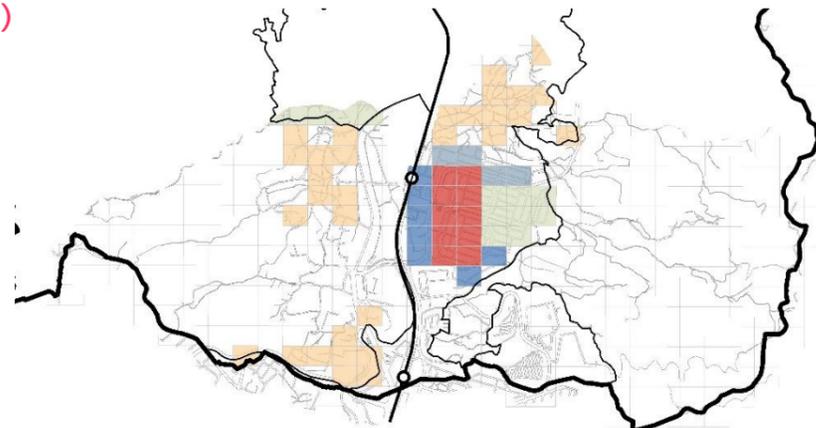
町名	入居開始年	生駒市第2期人口ビジョン(人)												住民基本台帳(R2.4.1)世帯数
		総人口			14歳以下			15歳以上74歳以下			75歳以上			
		2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	2020年	2040年	増減率	
萩の台住宅地	S56	2,937	2,322	-20.9%	280	273	-2.5%	2,117	1,397	-34.0%	540	652	20.7%	1,276
萩の台	—	846	792	-6.4%	154	121	-21.4%	588	542	-7.8%	104	129	24.0%	330
東山町	—	467	457	-2.1%	55	63	15.9%	373	314	-15.8%	39	80	106.7%	217
小平尾町	—	2,484	2,303	-7.3%	286	328	14.8%	1,891	1,522	-19.5%	307	453	47.7%	1,060
合計	—	6,734	5,874	-12.8%	775	785	1.3%	4,969	3,775	-24.0%	990	1314	32.7%	2,883

※生駒市第2期人口ビジョンとは、国立社会保障・人口問題研究所から2018年に公表された『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』を基に、生残率や移動率といった人口推計に必要なパラメーターを設定し推計したものです。

(2) 人口密度の増減 (2020年→2040年)

町名	生駒市第2期人口ビジョン 人口密度(人/ha)		
	2020年	2040年	増減率
萩の台住宅地	81.6	64.5	-20.9%
萩の台	60.4	56.6	-6.4%
東山町	33.4	32.6	-20.9%
小平尾町	9.8	9.1	-7.3%

※人口密度は、山間部など極端に人口が少ない地域を含む町単位での平均値となり実態と乖離している場合があります。



人口増減の予測

(3) 交通

拠点駅	萩の台駅	東山駅
● 乗降者数	2,634人/日(H30.11調査)	3,761人/日(H30.11調査)
● バス路線数	2本(うちコミュニティバス路線数2路線)	1本

方面・経由	6:00-9:00 通勤時間帯 (本/時)	9:00-17:00 昼 (本/時)	17:00-20:00 帰宅時間帯 (本/時)
コミュニティバス萩の台線 萩の台住宅地(萩の台駅)	0.3	0.8	0.3
コミュニティバス萩の台線 萩の台(萩の台駅)	0	0.5	0
近畿大学奈良病院(東山駅)	3.3	3.3	0.3

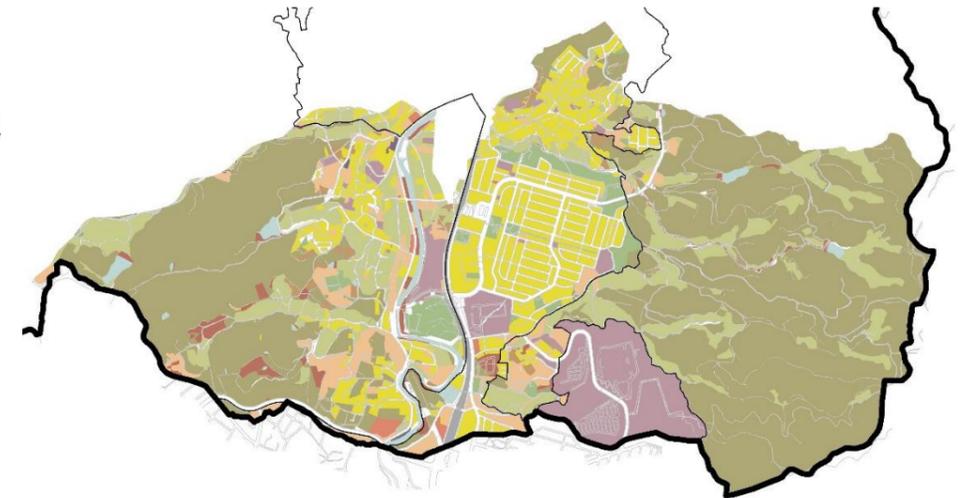
2020年10月時点の奈良交通バス、生駒市コミュニティバス時刻表より、時間帯別に各方面のバス本数平均値を集計したものです。

(4) 土地利用

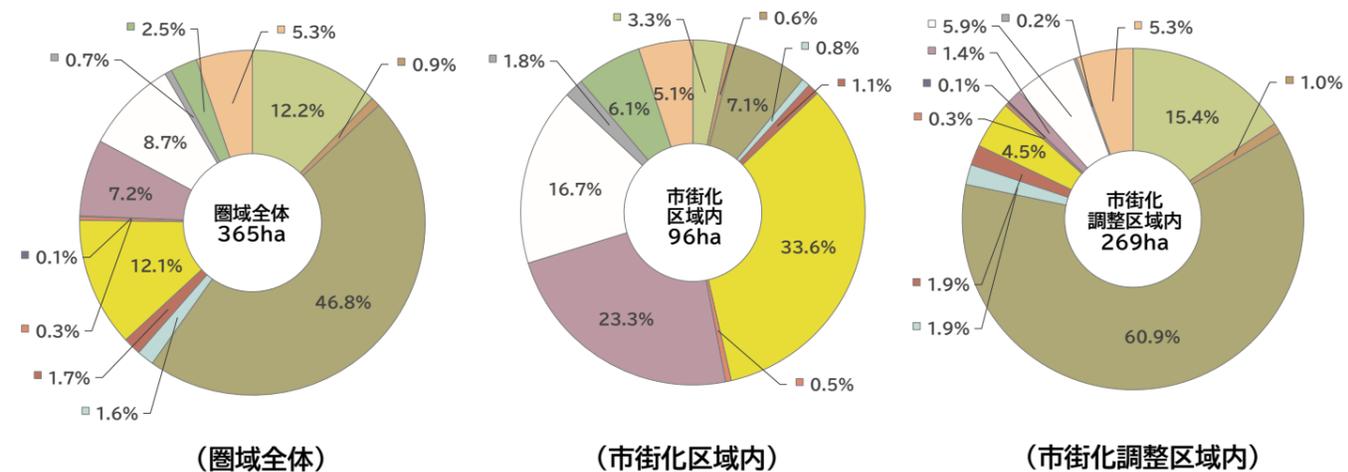
土地利用の状況 ※都市計画基礎調査(H26)より

土地利用現況

- 田
- 畑
- 山林
- 水面
- その他の自然地
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 公益施設用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 公共空地
- その他の空地



土地利用の割合



4. 都市施設・地域資源の立地状況と市民意識

市民意識調査結果

都市施設・生活利便施設

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・国道・県道等の幹線道路の整備状況
- ・身近な生活道路の整備状況
- ・歩行者・自転車のための道路の快適性・安全性
- ・公共施設や駅舎・駅周辺等における歩道の段差解消、エレベーター設置など
- ・災害に対するまちの安全性
- ・日常の買い物の便利さ
- ・高齢者福祉施設への行きやすさ
- ・病院・診療所等への行きやすさ

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む南生駒駅周辺地域の声を集めたものです。



萩の台第2公園



矢田丘陵遊歩道



土地利用

- | | |
|--------|----------|
| 市街地ゾーン | 商業・業務地 |
| | 低層住宅地 |
| | 複合住宅地 |
| | 田園集落ゾーン |
| | 山林・緑地ゾーン |

- | | |
|-------------|----------|
| 行政界 | 小中学校 |
| 市街化区域界 | 保育園・幼稚園 |
| 国道・県道・主要地方道 | 公共施設 |
| その他の道路 | コンビニ |
| ○ 駅 | 病院診療所 |
| — 鉄道 | 福祉施設等 |
| — 路線バス | 主要歴史文化資源 |
| — コミュニティバス | |
| — 街路樹 | |



生駒山・竜田川



緑道

市民意識調査結果

居住環境・コミュニティ

お住まいの地域における
現状の満足度・今後の重要度の調査結果

〈満足度 高 × 重要度 高〉

- ・子どもの教育環境の良さ
- ・治安の良さ
- ・閑静でゆとりのある住環境
- ・総合的に見た地域への満足度
- ・地域内の知り合いや頼れる人の多さ

〈満足度 低 × 重要度 高〉

- ・災害時等の自分の住まいの安全性
- ・災害時等の避難場所や避難経路
- ・商店街など身近なお店の活気
- ・地域での自分の思いや声の届きやすさ
- ・地域活動の世代交代の進み具合

※2019年12月に4,000人を対象として、これからの10年間で目指すまちの姿や重点的に取り組む施策の検討のため実施した市民意識調査(アンケート)の本圏域を含む南生駒駅周辺地域の声を集めたものです。